富良野市

在宅介護実態調査

結果報告書

令和２年８月

富良野市

目　　次

Ⅰ　調査の概要及び回答者の属性 1
　１　調査の概要 1
　　（１）調査目的 1
　　（２）調査対象及び調査方法 1
　　（３）配布数及び回収結果 1
　２　本調査報告書の基本的な事項 1
　　（１）数値の基本的な取り扱いについて 1
　３　対象者の属性 2
　　（１）対象者の居住地 2
　　（２）世帯類型 3

Ⅱ　調査結果 4
　１　Ａ票　介護について 4
　　（１）家族や親族からの介護等の頻度 4
　　（２）主な介護者 5
　　（３）主な介護者の性別 6
　　（４）主な介護者の年齢 7
　　（５）主な介護者が行っている介護等について 8
　　（６）介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいる 10
　　（７）利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス 11
　　（８）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 13
　　（９）施設等への入所・入居の検討状況 15
　　(10) 対象者が現在抱えている傷病 16
　　(11) 訪問診療の利用状況 18
　　(12) 介護保険サービスの利用状況 19
　　(13) 介護保険サービスを利用していない理由 20
　２　Ｂ票　主な介護者について 22
　　（１）主な介護者の住まい 22
　　（２）主な介護者の現在の勤務形態 23
　　（３）主な介護者の働き方についての調整等 24
　　（４）仕事と介護の両立に効果があると思う支援 25
　　（５）今後も働きながら介護を続けていけるか 27
　　（６）不安に感じる介護等について 28
　　（７）現在の対象者の介護度 29
　　（８）介護サービスの利用料の負担について 30
　　（９）介護サービスを受けて良かったこと 31
　　(10) 現在受けている介護サービスの満足度 33
　　(11) 満足していない、利用していない理由 34
　　(12) 今後の介護サービス利用意向 35
　　(13) 今後の介護方法 49

Ⅰ　調査の概要及び回答者の属性

１　調査の概要

（１）調査目的

本調査は、令和３年度から５年度までを計画期間とする「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするために実施した。

（２）調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	在宅の要支援・要介護認定の更新申請を行った方
配布数	303 票
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和２年７月
調査地域	富良野市全域

（３）配布数及び回収結果

配布数	303
有効回収数	166
有効回収率	54.8%

２　本調査報告書の基本的な事項

（１）数値の基本的な取り扱いについて

①比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下２位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100%を上下する場合もある。

②基数となるべき実数は、“ｎ＝〇〇〇”として掲載し、各比率はｎを 100%として算出している。

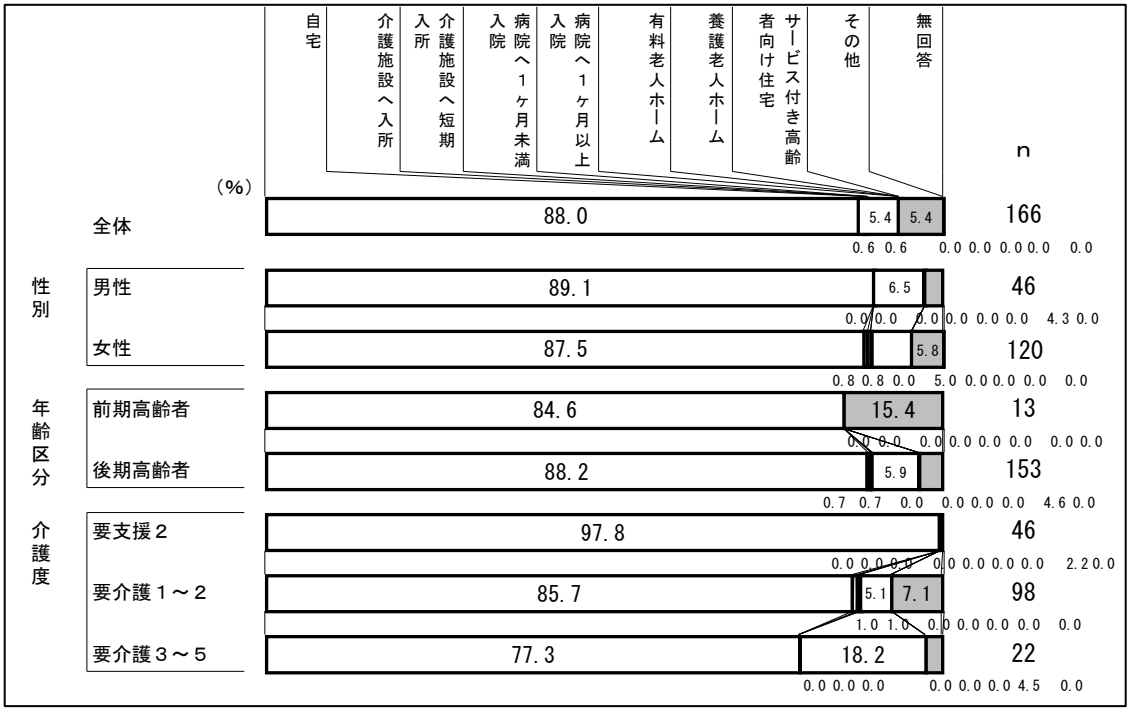
③質問の終わりに【複数回答】とある問は、１人の回答者が２つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は 100%を超える場合がある。

３　対象者の属性

（１）対象者の居住地

対象者の居住地は、「自宅」(88.0%)、「病院へ１ヶ月以上入院」(5.4%)、「介護施設へ入所」・「介護施設へ短期入所」（同率 0.6%）となっている。

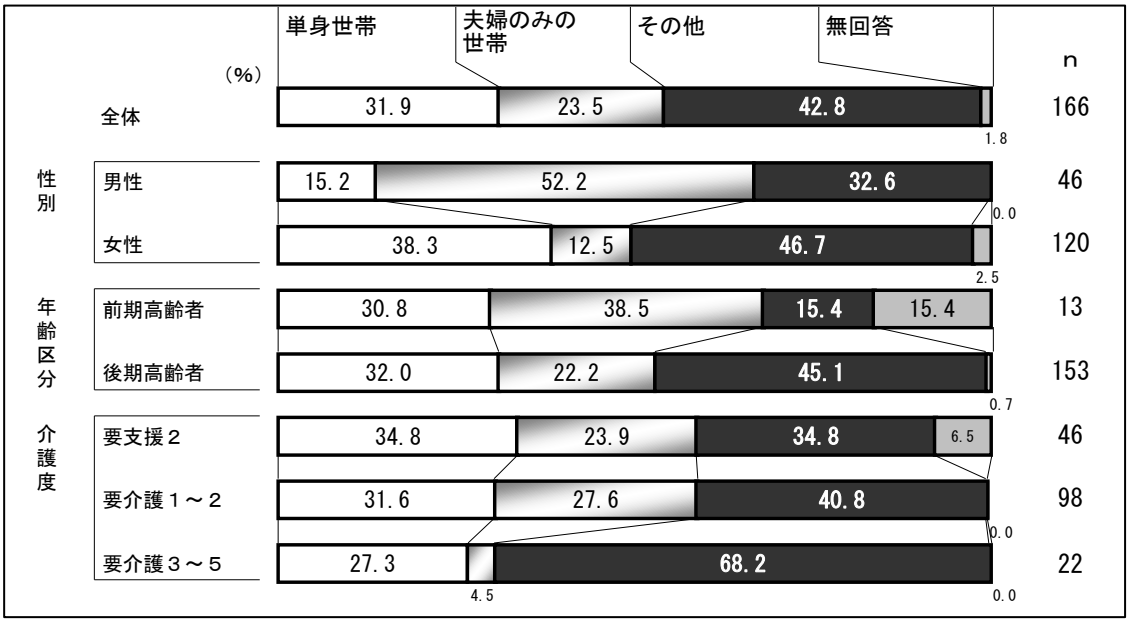
図表　対象者の居住地



（２）世帯類型

対象者の世帯類型は、「単身世帯」が 31.9%、「夫婦のみの世帯」が 23.5%、「その他」が 42.8%となっている。

図表　対象者の世帯類型



Ⅱ　調査結果

１　Ａ票　介護について

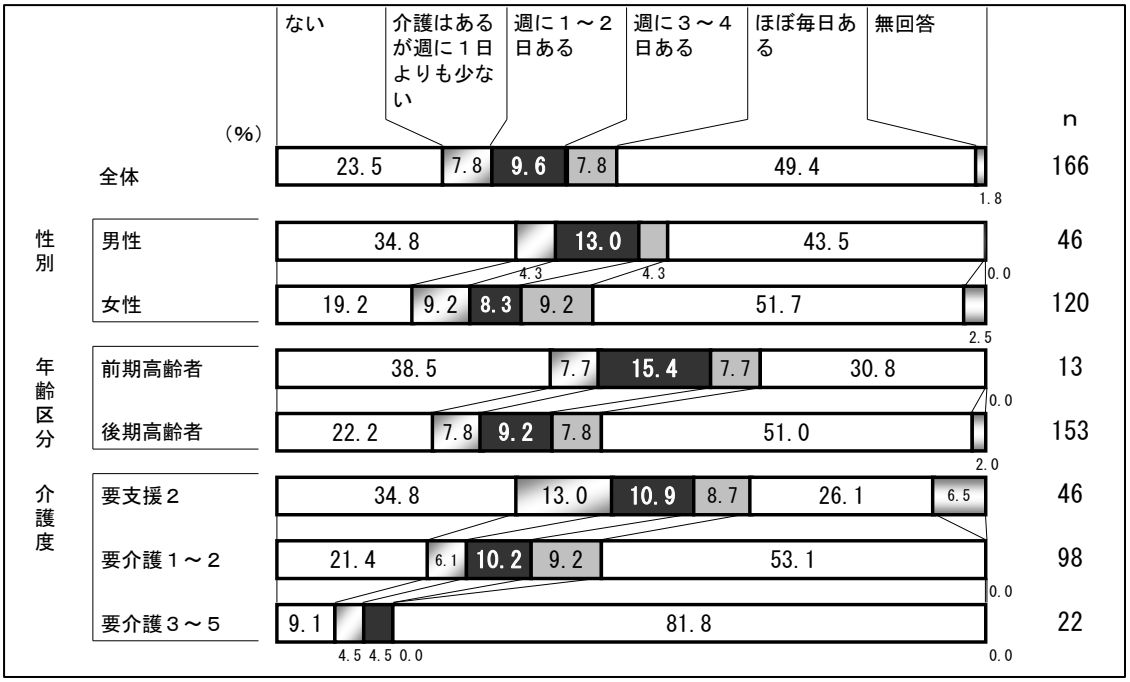
（１）家族や親族からの介護等の頻度

問４　ご家族やご親族の方からの介護等は、週にどのくらいありますか。
（同居していない子どもや親族等からの介護等を含む。）（１つを選択）

家族や親族からの介護等の頻度は、「ほぼ毎日ある」が 49.4%、「ない」が 23.5%、「週に１～２日ある」が 9.6%、「介護はあるが週に１日よりも少ない」・「週に３～４日ある」がともに 7.8%となっている。

性別でみると、男性では「ない」が 34.8%を占めるのに対し、女性では「ない」は 19.2%にとどまり、「ほぼ毎日ある」が 51.7%となっている。

図表　家族や親族からの介護等の頻度



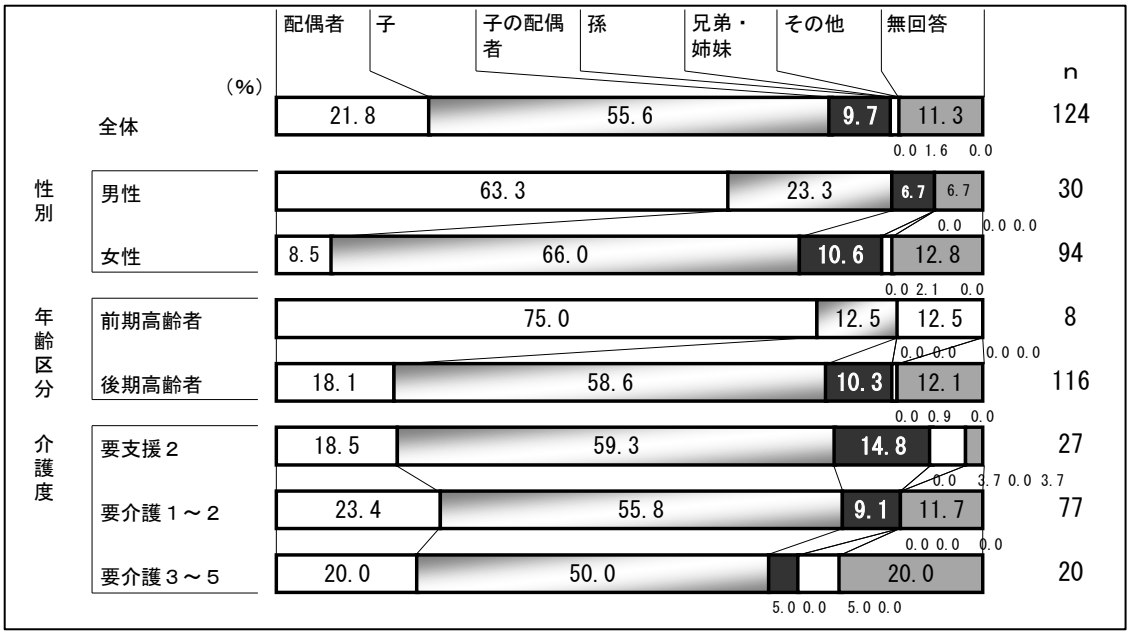
（２）主な介護者

※問 4-1 は、問４で「１．ない」以外を回答した方にお聞きします。
問 4-1　主な介護者の方は、どなたですか。（１つを選択）

主な介護者は、「子」が 55.6%、「配偶者」が 21.8%、「子の配偶者」が 9.7%、「兄弟・姉妹」が 1.6%となっている。

性別でみると、男性では「配偶者」が 63.3%を占めるのに対し、女性では「子」が 66.0%を占めている。

図表　主な介護者



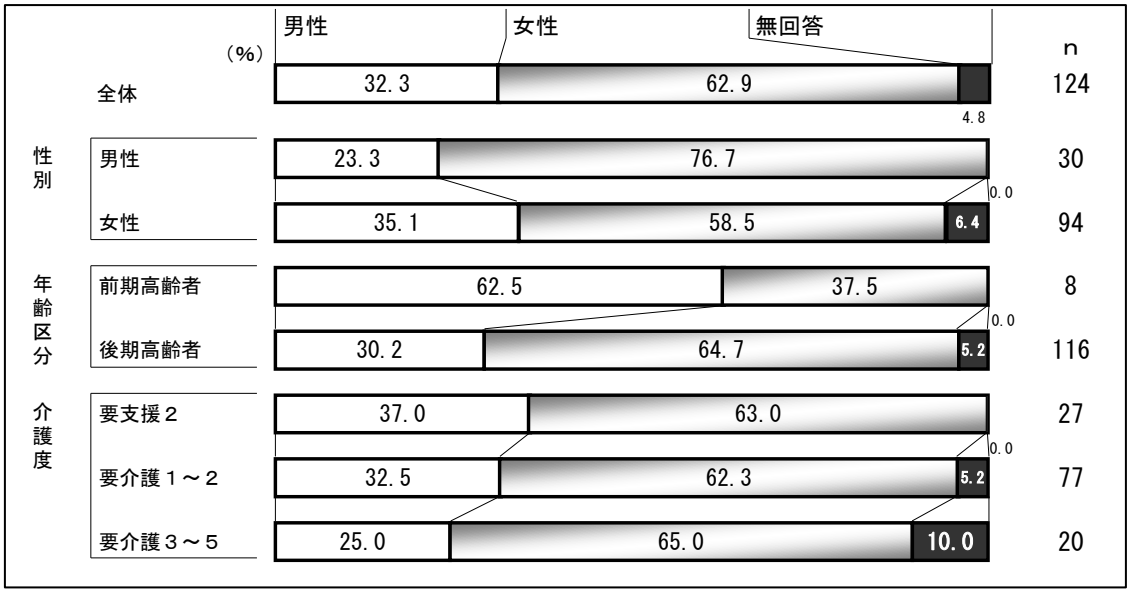
（３）主な介護者の性別

※問 4-2 は、問４で「１．ない」以外を回答した方にお聞きします。
問 4-2　主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（１つを選択）

主な介護者の性別は、「女性」が 62.9%、「男性」が 32.3%となっている。

年齢区分でみると、前期高齢者では「男性」が 62.5%となっているのに対し、後期高齢者では「女性」が 64.7%となっている。

図表　主な介護者の性別

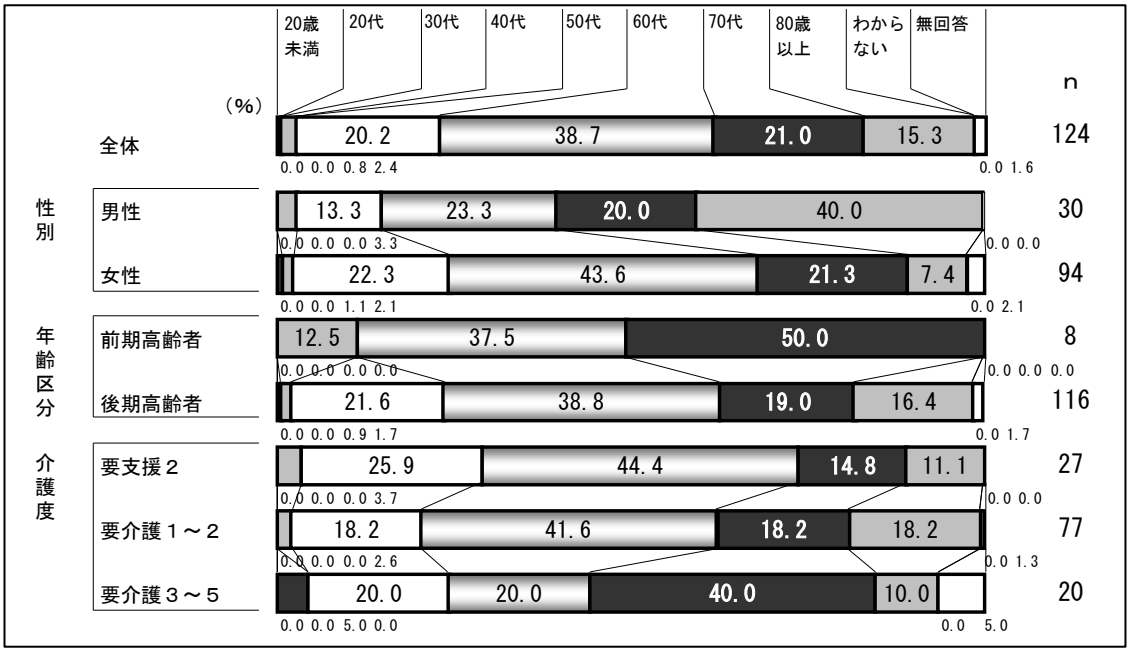


（４）主な介護者の年齢

※問 4-3 は、問４で「１．ない」以外を回答した方にお聞きします。
問 4-3　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（１つを選択）

主な介護者の年齢は、「60 代」が 38.7%、「70 代」が 21.0%、「50 代」が 20.2%、「80 歳以上」が 15.3%、「40 代」が 2.4%、「30 代」が 0.8%となっている。

図表　主な介護者の年齢



（５）主な介護者が行っている介護等について

※問 4-4 は、問４で「１．ない」以外を回答した方にお聞きします。
問 4-4　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
（複数選択可）【複数回答】

▼

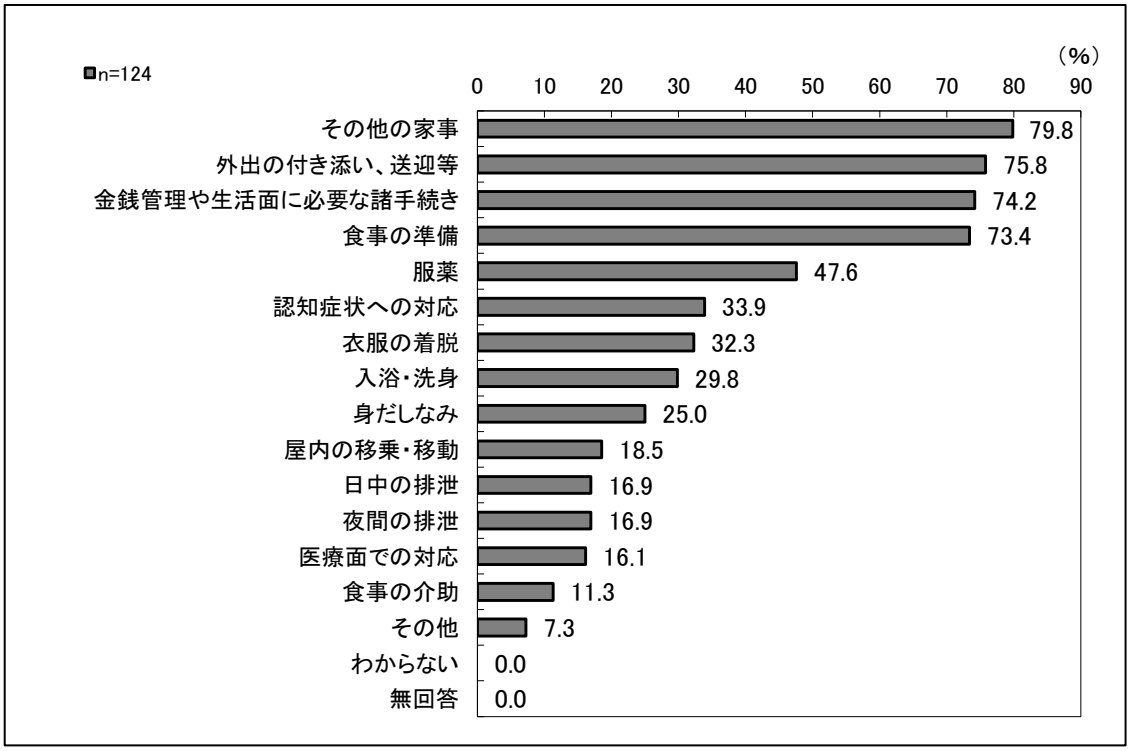
● 「その他の家事」が第１位。「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「食事の準備」などが続く。

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事」（79.8%）が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（75.8%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（74.2%）、「食事の準備」（73.4%）、「服薬」（47.6%）、「認知症状への対応」（33.9%）、「衣服の着脱」（32.3%）、「入浴・洗身」（29.8%）、「身だしなみ」（25.0%）、「屋内の移乗・移動」（18.5%）、「日中の排泄」・「夜間の排泄」（同率 16.9%）、「医療面での対応」（16.1%）、「食事の介助」（11.3%）の順となっている。

性別でみると、男性では「食事の準備」が第１位となっているのに対し、女性では「外出の付き添い、送迎等」が第１位となっている。

介護度でみると、要支援２では「外出の付き添い、送迎等」が第１位となっているのに対し、要介護３～５では「食事の準備」が第１位となっている。

図表　主な介護者が行っている介護等について（全体／複数回答）



図表　主な介護者が行っている介護等について

（全体・属性別－上位３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		その他の家事 79.8	外出の付き添い、送迎等 75.8	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 74.2
性別	男性	食事の準備 90.0	その他の家事 80.0	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 66.7
	女性	外出の付き添い、送迎等 83.0	その他の家事 79.8	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 76.6
年齢区分	前期高齢者	その他の家事 100.0	外出の付き添い、送迎等 75.0	食事の準備／金銭管理や生活面に必要な諸手続き 62.5
	後期高齢者	その他の家事 78.4	外出の付き添い、送迎等 75.9	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 75.0
介護度	要支援２	外出の付き添い、送迎等 70.4	その他の家事 63.0	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 51.9
	要介護１～２	その他の家事 84.4	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 83.1	外出の付き添い、送迎等 80.5
	要介護３～５	食事の準備 90.0	その他の家事 85.0	身だしなみ／衣服の着脱 75.0

（６）介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいる

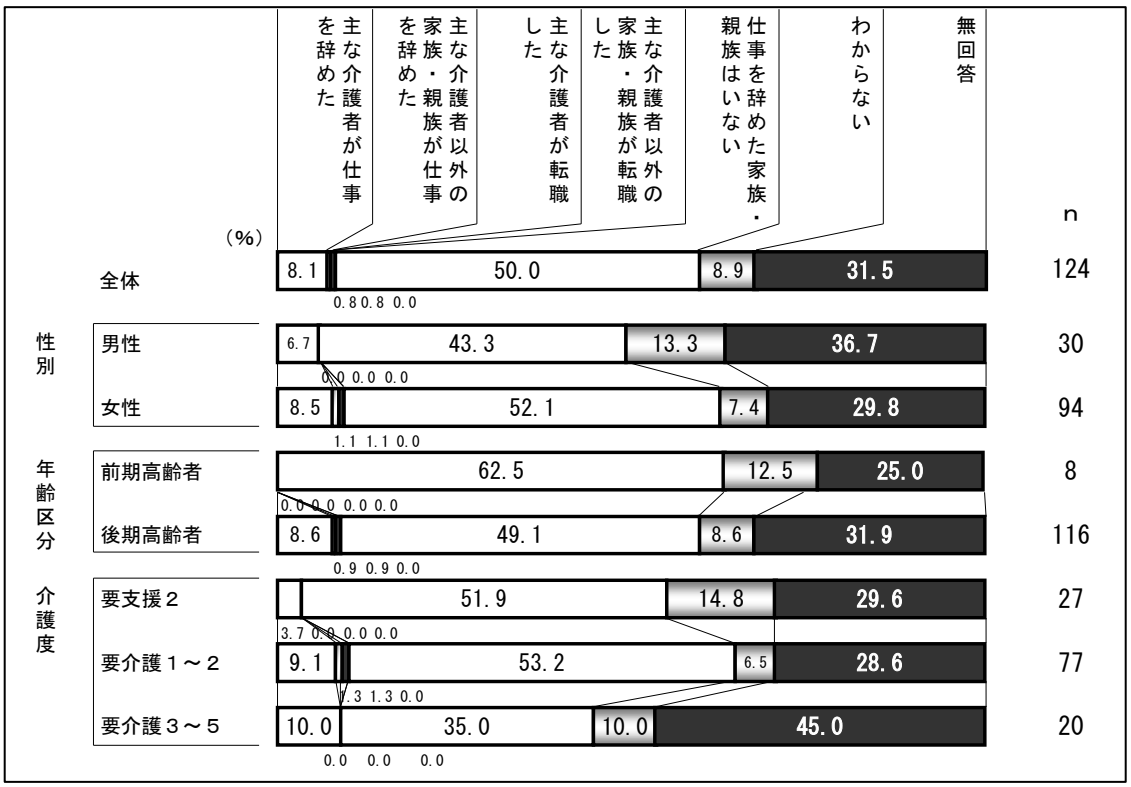
※問 4-5 は、問４で「１．ない」以外を回答した方にお聞きします。
問 4-5　ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去１年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）（１つを選択）

▼

● 「仕事を辞めた家族・親族はいない」が５割を占める。

介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいるかどうかについては、「仕事を辞めた家族・親族はいない」が 50.0%、「主な介護者が仕事を辞めた」が 8.1%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」・「主な介護者が転職した」が同率で 0.8%となっている。

図表　介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいる



（７）利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス

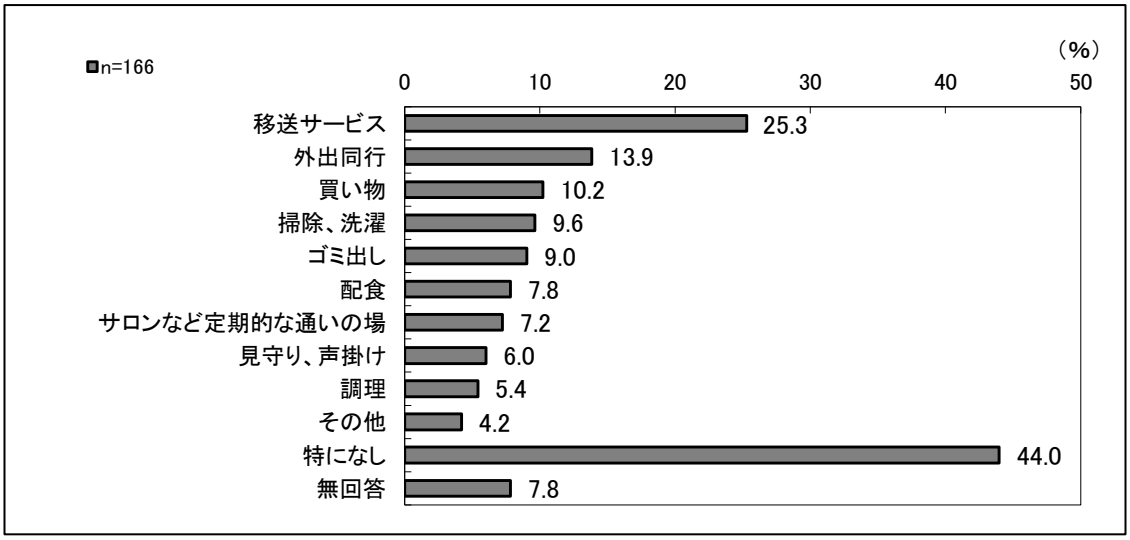
問５　現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）【複数回答】

▼

● 「移送サービス」が第１位。「特になし」は 44.0%を占める。

利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス」（25.3%）が最も多く、次いで「外出同行」（13.9%）、「買い物」（10.2%）、「掃除、洗濯」（9.6%）、「ゴミ出し」（9.0%）、「配食」（7.8%）、「サロンなど定期的な通いの場」（7.2%）、「見守り、声掛け」（6.0%）、「調理」（5.4%）の順となっている。なお、「特になし」は 44.0%となっている。

図表　利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス（全体／複数回答）



図表　利用中の介護保険サービス以外の支援・サービス

（全体・属性別－上位３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		移送サービス 25.3	外出同行 13.9	買い物 10.2
性別	男性	移送サービス 37.0	外出同行 13.0	掃除、洗濯／買い物／ゴミ出し 8.7
	女性	移送サービス 20.8	外出同行 14.2	買い物 10.8
年齢区分	前期高齢者	配食／ゴミ出し／外出同行 15.4		
	後期高齢者	移送サービス 26.8	外出同行 13.7	買い物 10.5
介護度	要支援２	買い物／移送サービス／サロンなど定期的な通いの場 17.4		
	要介護１～２	移送サービス 24.5	外出同行 12.2	配食／掃除、洗濯 9.2
	要介護３～５	移送サービス 45.5	外出同行 18.2	配食／調理／掃除、洗濯／買い物／ゴミ出し 9.1

（８）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問６　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（複数選択可）【複数回答】

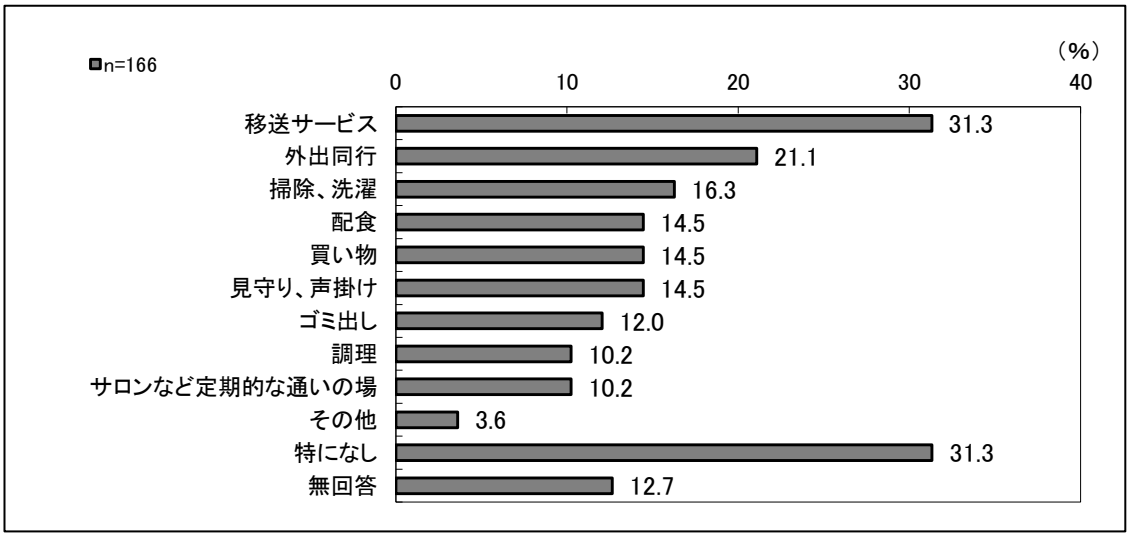
▼

● 「移送サービス」が第１位。「外出同行」、「掃除、洗濯」などが続く。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス」（31.3%）が最も多く、次いで「外出同行」（21.1%）、「掃除、洗濯」（16.3%）、「配食」・「買い物」・「見守り、声掛け」（同率 14.5%）、「ゴミ出し」（12.0%）、「調理」・「サロンなど定期的な通いの場」（同率 10.2%）の順となっている。なお、「特になし」は 31.3%となっている。

年齢区分でみると、前期高齢者では「ゴミ出し」が第１位となっている。

図表　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（全体／複数回答）



図表　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

（全体・属性別－上位３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		移送サービス 31.3	外出同行 21.1	掃除、洗濯 16.3
性別	男性	移送サービス 32.6	掃除、洗濯 19.6	買い物／外出同行 17.4
	女性	移送サービス 30.8	外出同行 22.5	見守り、声掛け 17.5
年齢区分	前期高齢者	ゴミ出し 30.8	配食／移送サービス 23.1	
	後期高齢者	移送サービス 32.0	外出同行 21.6	掃除、洗濯 17.0
介護度	要支援２	移送サービス 30.4	外出同行 23.9	買い物 21.7
	要介護１～２	移送サービス 32.7	外出同行 22.4	配食 19.4
	要介護３～５	移送サービス 27.3	見守り、声掛け 13.6	外出同行 9.1

（９）施設等への入所・入居の検討状況

問７　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
（１つを選択）

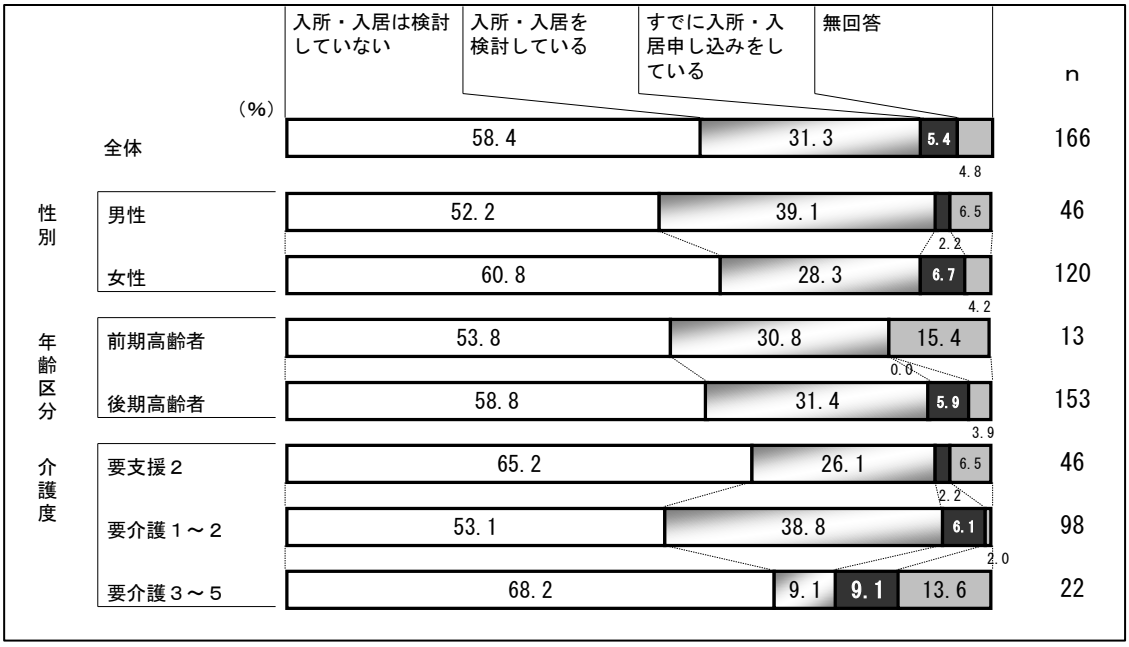
▼

● 「入所・入居は検討していない」が６割弱、「入所・入居を検討している」が３割強を占める。

施設等への入所・入居の検討状況についてたずねたところ、「入所・入居は検討していない」が 58.4%、「入所・入居を検討している」が 31.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.4%となっている。

性別でみると、男性では女性と比べて「入所・入居を検討している」の割合が高くなっている。

図表　施設等への入所・入居の検討状況



(10) 対象者が現在抱えている傷病

問８　ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）【複数回答】

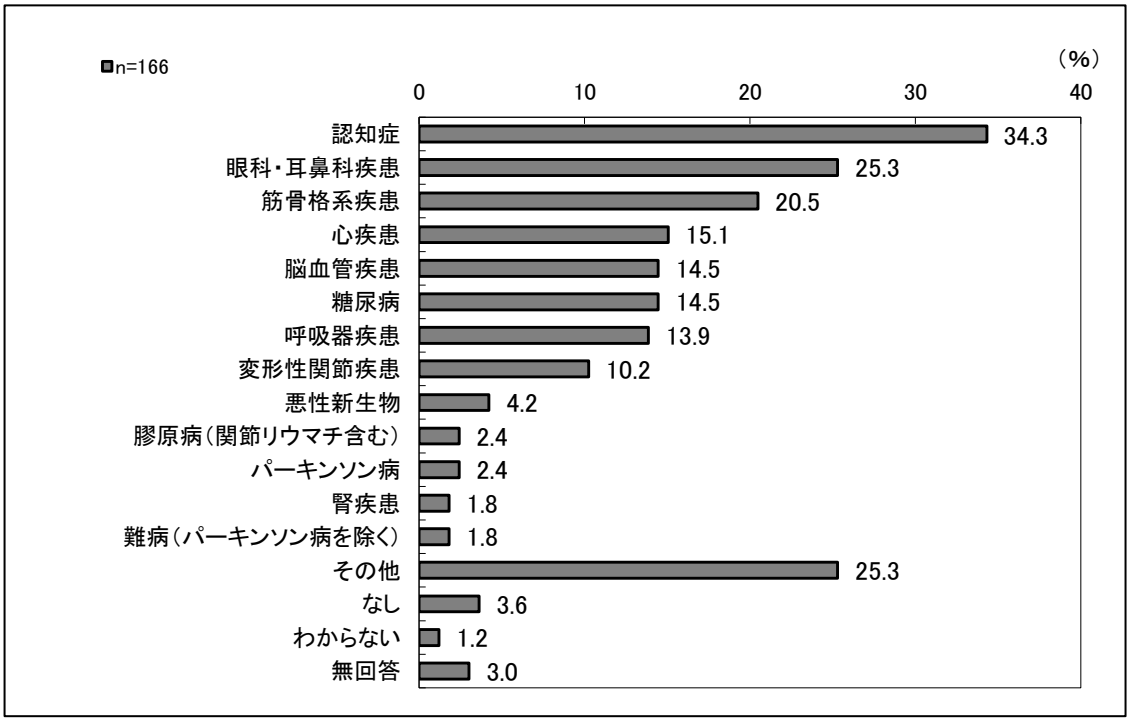
▼

● 「認知症」が第１位。「眼科・耳鼻科疾患」、「筋骨格系疾患」などが続く。

対象者が現在抱えている傷病については、「認知症」(34.3%) が最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」(25.3%)、「筋骨格系疾患」(20.5%)、「心疾患」(15.1%)、「脳血管疾患」・「糖尿病」(同率 14.5%)、「呼吸器疾患」(13.9%)、「変形性関節疾患」(10.2%)、「悪性新生物」(4.2%)、「膠原病（関節リウマチ含む)」・「パーキンソン病」(同率 2.4%)、「腎疾患」(1.8%)、「難病（パーキンソン病を除く)」(1.8%) となっている。なお、「なし」は 3.6%となっている。

年齢区分でみると、前期高齢者では「糖尿病」が第１位となっているのに対し、後期高齢者では「認知症」が第１位となっている。

図表　対象者が現在抱えている傷病（全体／複数回答）



図表　対象者が現在抱えている傷病（全体・属性別－上位３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		認知症 34.3	眼科・耳鼻科疾患 25.3	筋骨格系疾患 20.5
性別	男性	認知症 32.6	脳血管疾患 28.3	眼科・耳鼻科疾患 23.9
	女性	認知症 35.0	眼科・耳鼻科疾患 25.8	筋骨格系疾患 24.2
年齢区分	前期高齢者	糖尿病 23.1	脳血管疾患／認知症／難病（パーキンソン病 15.4	
	後期高齢者	認知症 35.9	眼科・耳鼻科疾患 26.1	筋骨格系疾患 22.2
介護度	要支援２	眼科・耳鼻科疾患 32.6	筋骨格系疾患 26.1	呼吸器疾患／変形性関 15.2
	要介護１～２	認知症 44.9	眼科・耳鼻科疾患 19.4	筋骨格系疾患 18.4
	要介護３～５	認知症 45.5	呼吸器疾患／眼科・耳鼻科疾患 36.4	

(11) 訪問診療の利用状況

問９　ご本人（調査対象者）は現在、訪問診療を利用していますか。（１つを選択）

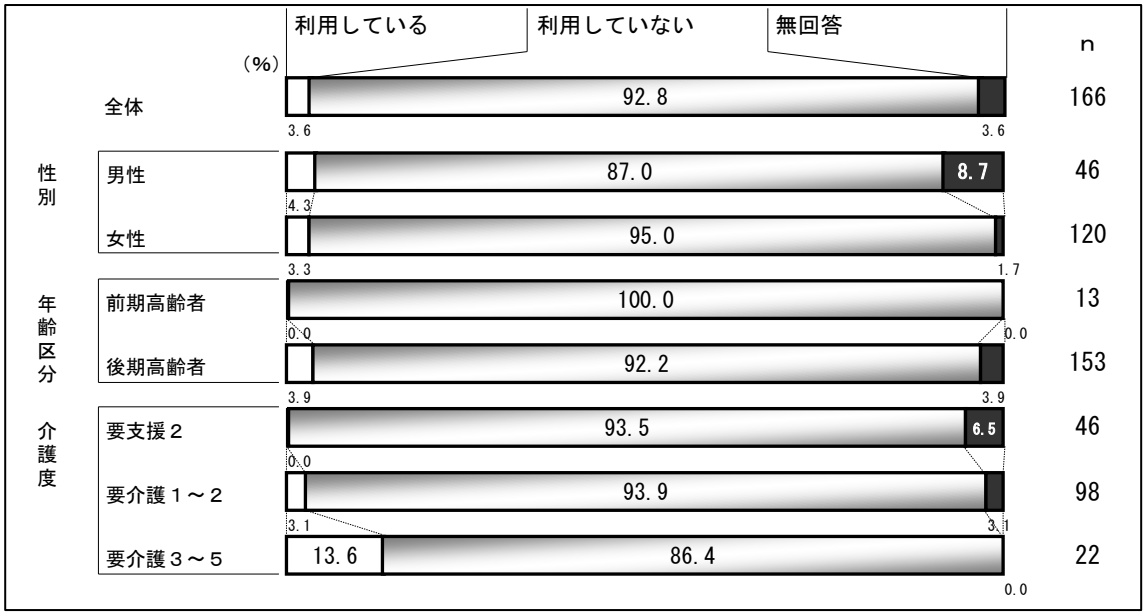
▼

● 「利用していない」が９割強を占める。「利用していない」は１割に満たない。

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が 92.8%、「利用している」が 3.6%となっている。

介護度でみると、要介護３～５で「利用している」が 13.6%を占めている。

図表　訪問診療の利用状況



(12) 介護保険サービスの利用状況

問 10　現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護サービスを利用していますか。(1つを選択)

▼

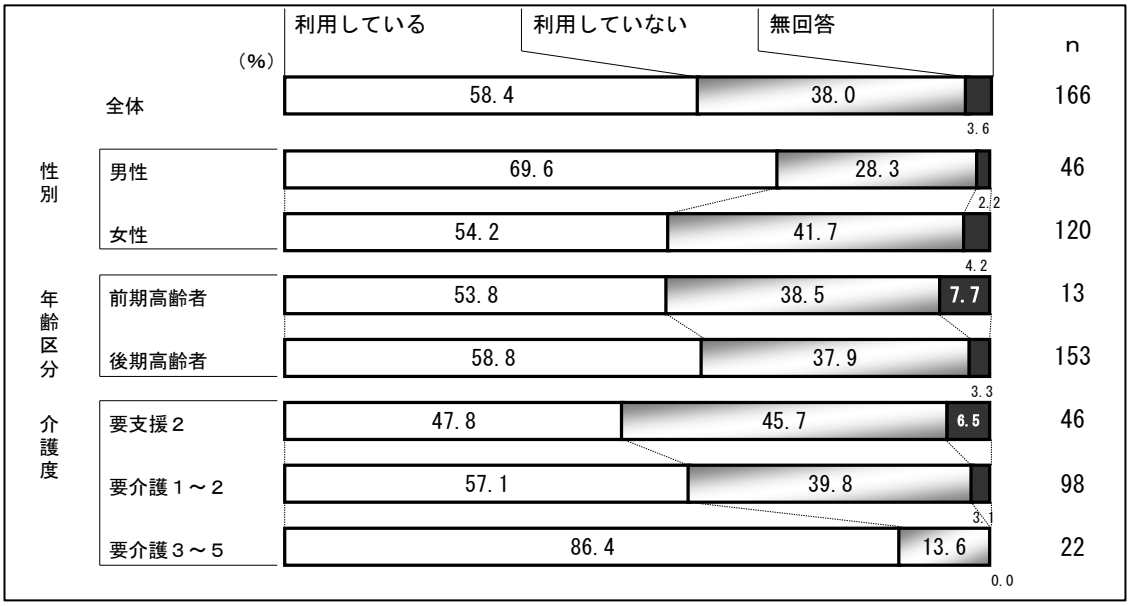
● 「利用している」が６割弱、「利用していない」が４割弱を占める。

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が 58.4%、「利用していない」が 38.0%となっている。

性別でみると、女性に比べて男性の「利用している」の割合が高くなっている。

介護度でみると、介護度が上昇するにつれて「利用している」の割合が高くなっている。

図表　介護保険サービスの利用状況



(13) 介護保険サービスを利用していない理由

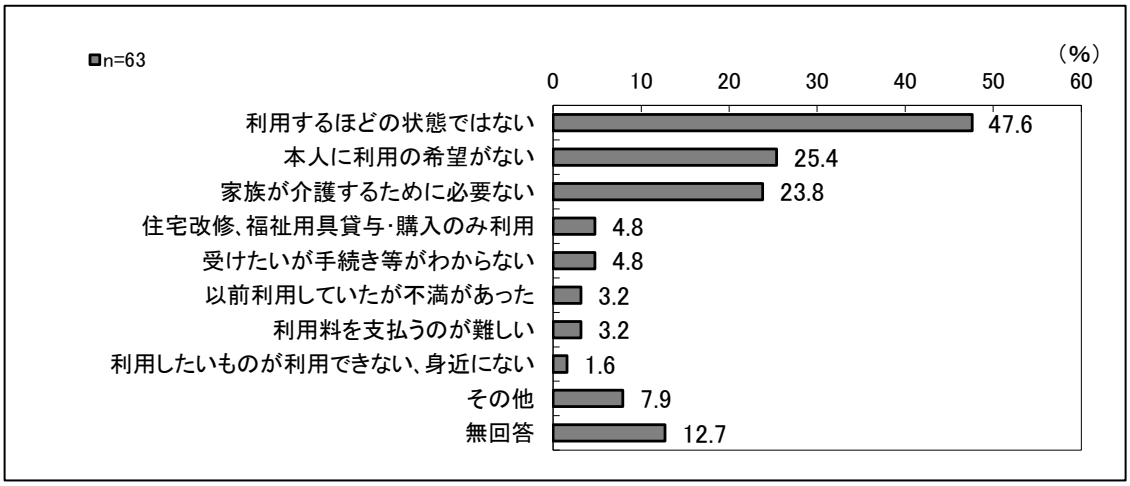
※問 10-1 は、問 10 で「２．利用していない」と回答した方にお聞きします。
問 10-1　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)【複数回答】

▼

● 「利用するほどの状態ではない」が他を大きく引き離して第１位。

介護保険サービスを利用していない理由については、「利用するほどの状態ではない」（47.6%）が最も多く、次いで「本人に利用の希望がない」(25.4%)、「家族が介護するために必要ない」(23.8%)、「住宅改修､福祉用具貸与･購入のみ利用」・「受けたいが手続き等がわからない」(同率 4.8%)、「以前利用していたが不満があった」・「利用料を支払うのが難しい」(同率 3.2%)、「利用したいものが利用できない､身近にない」(1.6%) の順となっている。

図表　介護保険サービスを利用していない理由（全体／複数回答）



図表　介護保険サービスを利用していない理由（全体・属性別－上位３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		利用するほどの状態ではない 47.6	本人に利用の希望がない 25.4	家族が介護するために必要ない 23.8
性別	男性	利用するほどの状態ではない 38.5	本人に利用の希望がない 23.1	家族が介護するために必要ない／以前利用していたが不満があった／利用したいものが利用できない、身近にない／住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用／受けたいが手続き等がわからない 7.7
	女性	利用するほどの状態ではない 50.0	家族が介護するために必要ない 28.0	本人に利用の希望がない 26.0
年齢区分	前期高齢者	利用するほどの状態ではない 60.0	本人に利用の希望がない 40.0	家族が介護するために必要ない／利用したいものが利用できない、身近にない／住宅改修、福祉用具貸与・購入のみ利用 20.0
	後期高齢者	利用するほどの状態ではない 46.6	本人に利用の希望がない／家族が介護するために必要ない 24.1	
介護度	要支援２	利用するほどの状態ではない 57.1	本人に利用の希望がない 23.8	家族が介護するために必要ない／受けたいが手続き等がわからない 14.3
	要介護１～２	利用するほどの状態ではない 43.6	家族が介護するために必要ない 25.6	本人に利用の希望がない 23.1
	要介護３～５	本人に利用の希望がない／家族が介護するために必要ない 66.7		利用するほどの状態ではない 33.3

２　Ｂ票　主な介護者について

（１）主な介護者の住まい

問１　主な介護者の方はどちらにお住まいですか。（１つを選択）

▼

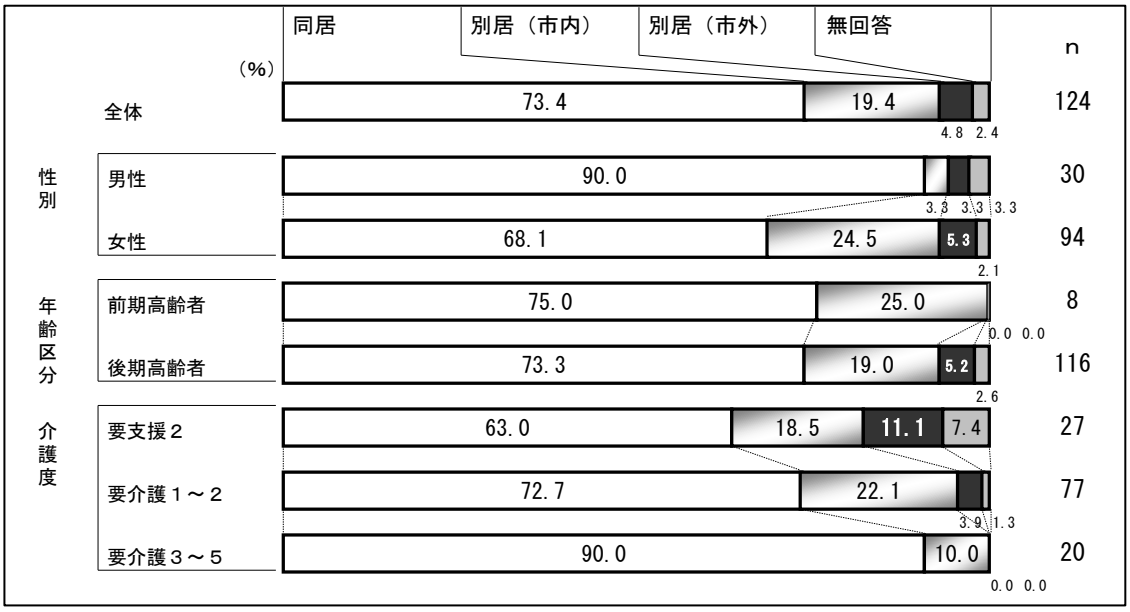
● 「同居」が７割強を占める。

主な介護者の住まいについてたずねたところ、「同居」が 73.4%、「別居（市内）」が 19.4%、「別居（市外）」が 4.8%となっている。

性別でみると、女性では「別居（市内）」が 24.5%となっている。

介護度でみると、重度化するにつれて「同居」の割合が高くなっている。

図表　主な介護者の住まい



（２）主な介護者の現在の勤務形態

問２　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つを選択）

▼

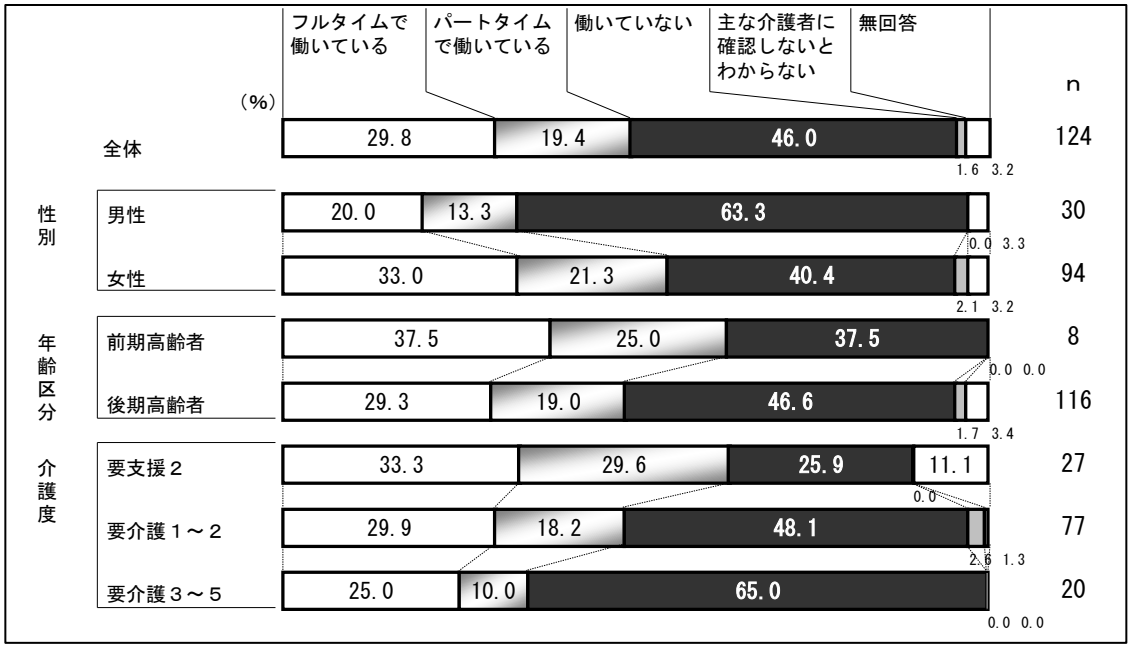
● 「働いていない」が５割弱を占める。「フルタイムで働いている」が３割弱、「パートタイムで働いている」が２割弱を占める。

主な介護者の現在の勤務形態についてたずねたところ、「働いていない」が 46.0%、「フルタイムで働いている」が 29.8%、「パートタイムで働いている」が 19.4%、「主な介護者に確認しないとわからない」が 1.6%となっている。

年齢でみると、男性と比べて女性では主な介護者が就労している割合が高くなっている。

介護度でみると、介護度が上昇するにつれ「働いていない」の割合が高くなっている。

図表　主な介護者の現在の勤務形態



（３）主な介護者の働き方についての調整等

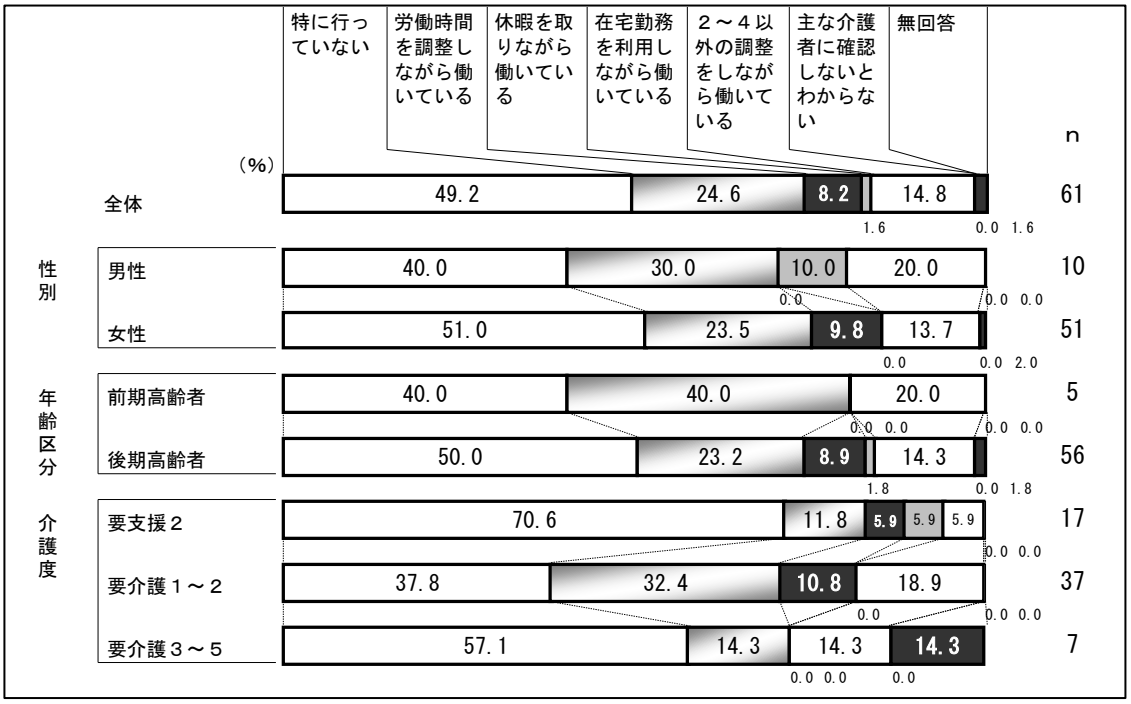
※問 2-1 は、問２で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。
問 2-1　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（１つを選択）

▼

● 「特に行っていない」が５割弱を占める。

主な介護者の働き方についての調整等についてたずねたところ、「特に行っていない」が 49.2%、「労働時間を調整しながら働いている」が、「２～４以外の調整をしながら働いている」が 14.8%、「休暇を取りながら働いている」が 8.2%、「在宅勤務を利用しながら働いている」が 1.6%となっている。

図表　主な介護者の働き方についての調整等



（４）仕事と介護の両立に効果があると思う支援

※問 2-2 は、問２で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。

問 2-2　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（３つまで選択可）【複数回答】

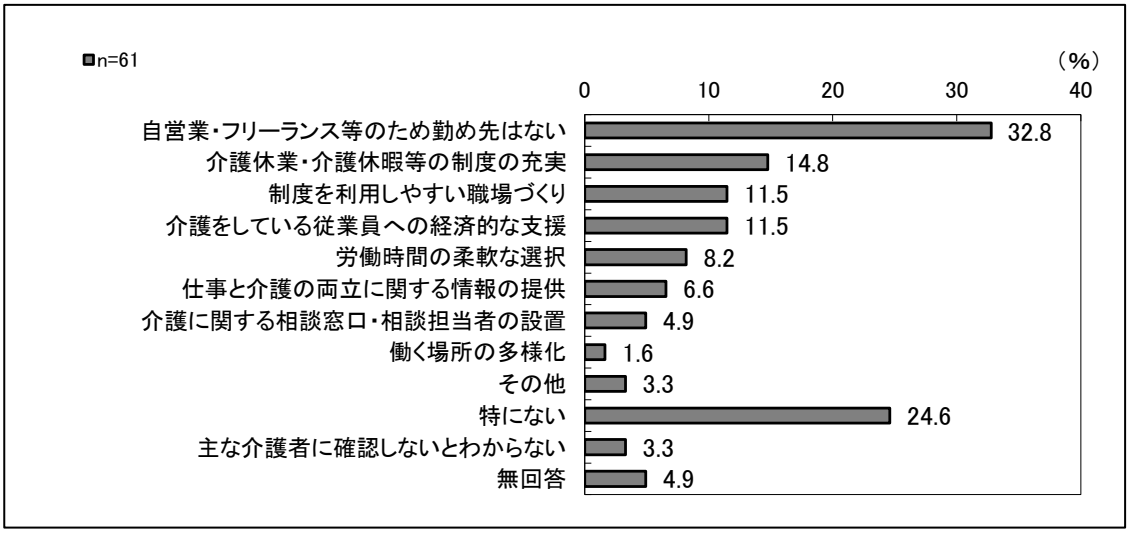
▼

● 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 14.8%を占める。

仕事と介護の両立に効果があると思う支援についてたずねたところ、「自営業・フリーランス等のため勤め先はない」（32.8%）が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（14.8%）、「制度を利用しやすい職場づくり」・「介護をしている従業員への経済的な支援」（同率 11.5%）、「労働時間の柔軟な選択」（8.2%）、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」（6.6%）、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」（4.9%）、「働く場所の多様化」（1.6%）などとなっている。

なお、「特にない」は 26.4%、「主な介護者に確認しないとわからない」は 3.3%となっている。

図表　仕事と介護の両立に効果があると思う支援（全体／複数回答）



図表　仕事と介護の両立に効果があると思う支援（全体・属性別－上位第３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		自営業・フリーランス等のため勤め先はない 32.8	介護休業・介護休暇等の制度の充実 14.8	制度を利用しやすい職場づくり／介護をしている従業員への経済的な支援 11.5
性別	男性	労働時間の柔軟な選択 30.0	自営業・フリーランス等のため勤め先はない／介護休業・介護休暇等の制度の充実／介護をしている従業員への経済的な支援 20.0	
	女性	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 35.3	介護休業・介護休暇等の制度の充実 13.7	制度を利用しやすい職場づくり 11.8
年齢区分	前期高齢者	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 40.0	介護休業・介護休暇等の制度の充実／制度を利用しやすい職場づくり／仕事と介護の両立に関する情報の提供／介護をしている従業員への経済的な支援 20.0	
	後期高齢者	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 32.1	介護休業・介護休暇等の制度の充実 14.3	制度を利用しやすい職場づくり／介護をしている従業員への経済的な支援 10.7
介護度	要支援２	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 29.4	介護休業・介護休暇等の制度の充実／労働時間の柔軟な選択／介護をしている従業員への経済的な支援 11.8	
	要介護１～２	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 32.4	介護休業・介護休暇等の制度の充実／制度を利用しやすい職場づくり 16.2	
	要介護３～５	自営業・フリーランス等のため勤め先はない／介護をしている従業員への経済的な支援 42.9		介護休業・介護休暇等の制度の充実 14.3

（５）今後も働きながら介護を続けていけるか

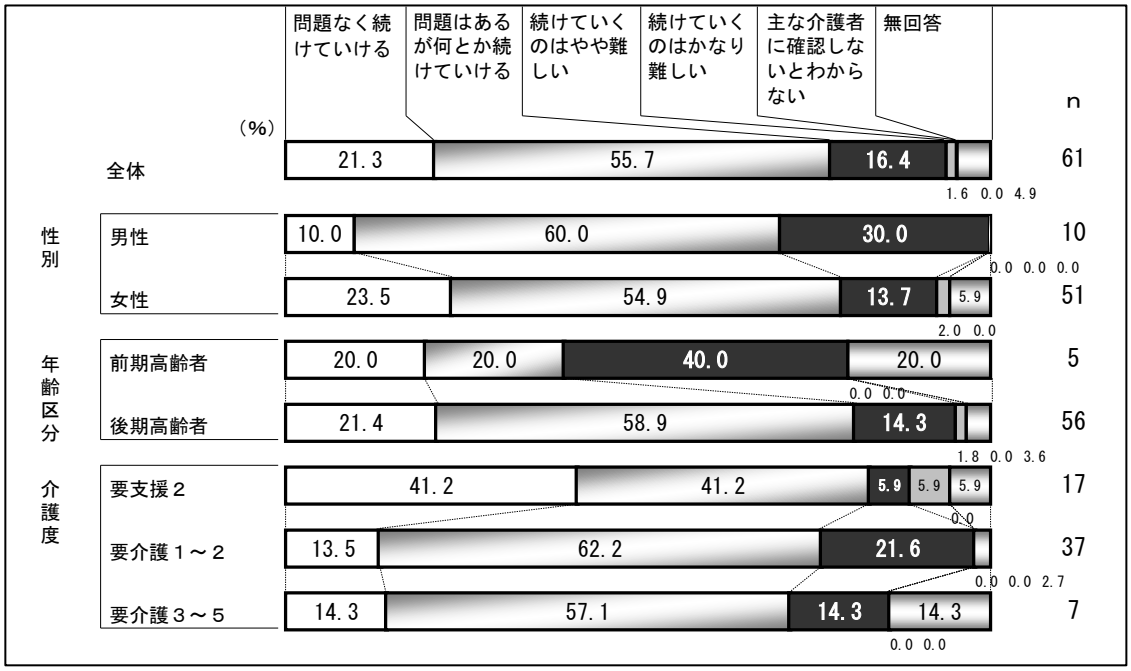
※問 2-3 は、問２で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。
問 2-3　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つを選択）

▼

● 「問題はあるが何とか続けていける」が６割弱、「問題なく続けていける」が２割強を占める。

今後も働きながら介護を続けていけるかについてたずねたところ、「問題はあるが何とか続けていける」が 55.7%、「問題なく続けていける」が 21.3%、「続けていくのはやや難しい」が 16.4%、「続けていくのはかなり難しい」が 1.6%となっている。

図表　今後も働きながら介護を続けていけるか



（６）不安に感じる介護等について

問３　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません。）（３つまで選択可）【複数回答】

▼

● 「認知症状への対応」が第１位。「入浴・洗身」、「夜間の排泄」・「外出の付き添い、送迎等」などが続く。

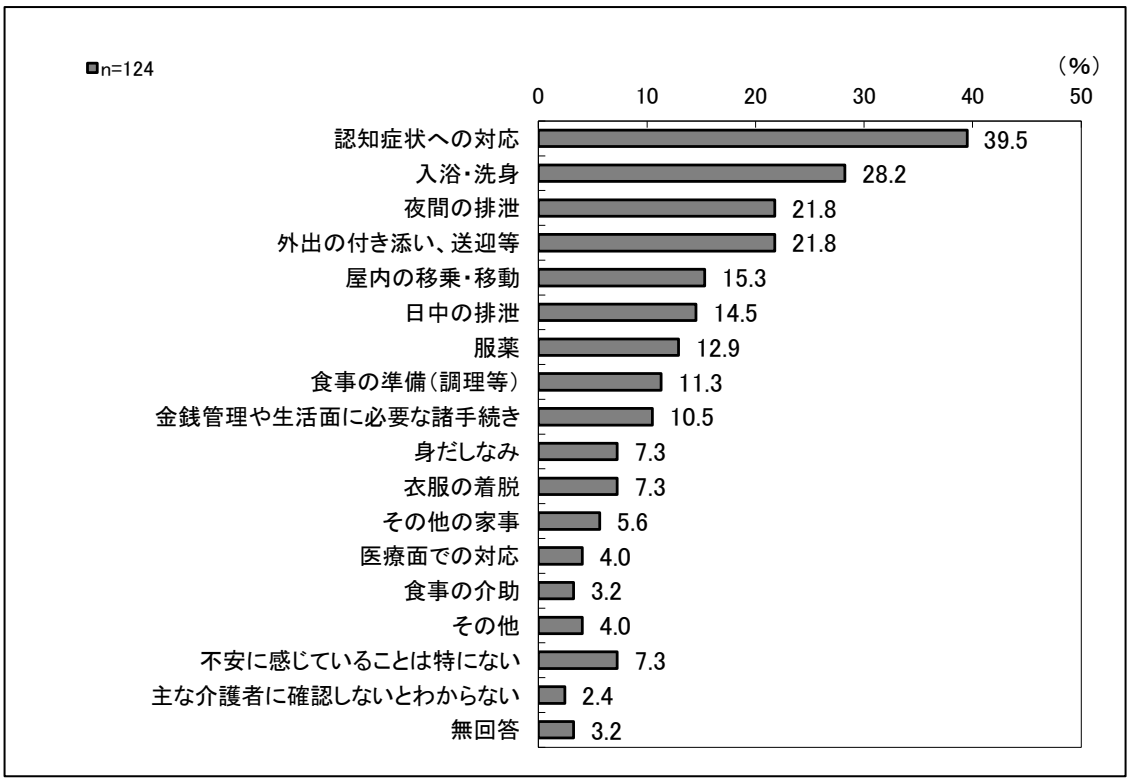
不安に感じる介護等についてたずねたところ、「認知症状への対応」（39.5%）が最も多く、次いで「入浴・洗身」（28.2%）、「夜間の排泄」・「外出の付き添い、送迎等」（同率21.8%）、「屋内の移乗・移動」（15.3%）、「日中の排泄」（14.5%）、「服薬」（12.9%）、「食事の準備（調理等）」（11.3%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（10.5%）、「身だしなみ」・「衣服の着脱」（同率7.3%）、「その他の家事」（5.6%）、「医療面での対応」（4.0%）、「食事の介助」（3.2%）の順となっている。

また、「不安に感じていることは特にない」は7.3%、「主な介護者に確認しないとわからない」は2.4%となっている。

性別でみると、男性では「夜間の排泄」が第１位となっているのに対し、女性では「認知症状への対応」が第１位となっている。

年齢区分でみると、前期高齢者では「外出の付き添い、送迎等」が第１位となっている。

図表　不安に感じる介護等について（全体／複数回答）



図表　不安に感じる介護等について（全体・属性別－上位第３位／複数回答）

（単位：%）

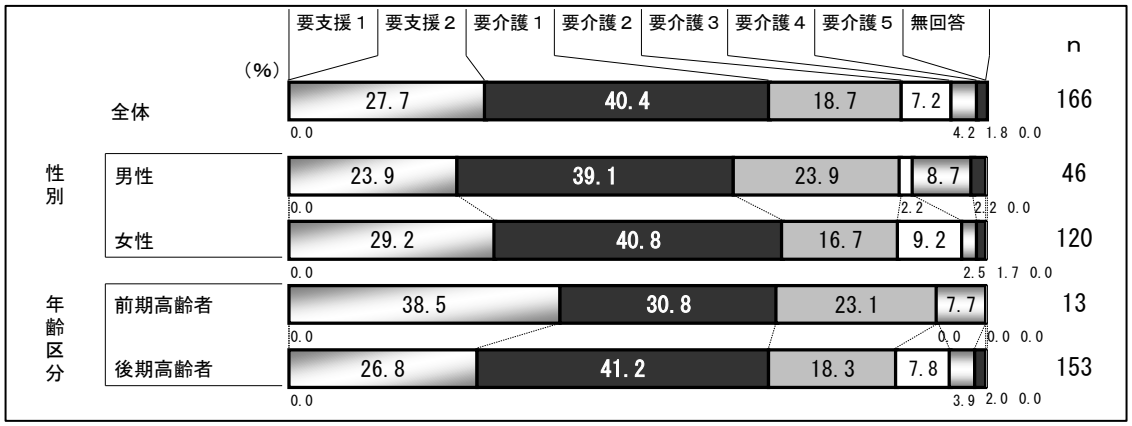
		第１位	第２位	第３位
全体		認知症状への対応 39.5	入浴・洗身 28.2	夜間の排泄／外出の付き添い、送迎等 21.8
性別	男性	夜間の排泄 36.7	認知症状への対応 33.3	入浴・洗身 30.0
	女性	認知症状への対応 41.5	入浴・洗身 27.7	外出の付き添い、送迎等 21.3
年齢区分	前期高齢者	外出の付き添い、送迎等 62.5	入浴・洗身 37.5	衣服の着脱／屋内の移乗・移動／その他の家事 25.0
	後期高齢者	認知症状への対応 41.4	入浴・洗身 27.6	夜間の排泄 22.4
介護度	要支援２	外出の付き添い、送迎 33.3	入浴・洗身 29.6	認知症状への対応 25.9
	要介護１～２	認知症状への対応 42.9	入浴・洗身 31.2	夜間の排泄 22.1
	要介護３～５	認知症状への対応 45.0	夜間の排泄 40.0	屋内の移乗・移動 35.0

（７）現在の対象者の介護度

問４　現在の調査対象者の介護度を教えてください。（１つを選択）

現在の対象者の介護度についてたずねたところ、「要介護１」が 40.4%、「要支援２」が 27.7%、「要介護２」が 18.7%、「要介護３」が 7.2%、「要介護４」が 4.2%、「要介護５」が 1.8%となっている。

図表　現在の対象者の介護度



（８）介護サービスの利用料の負担について

問５　現在支払っている介護サービス利用料の負担（１～３割負担）について、どのように感じていますか。（１つを選択）

▼

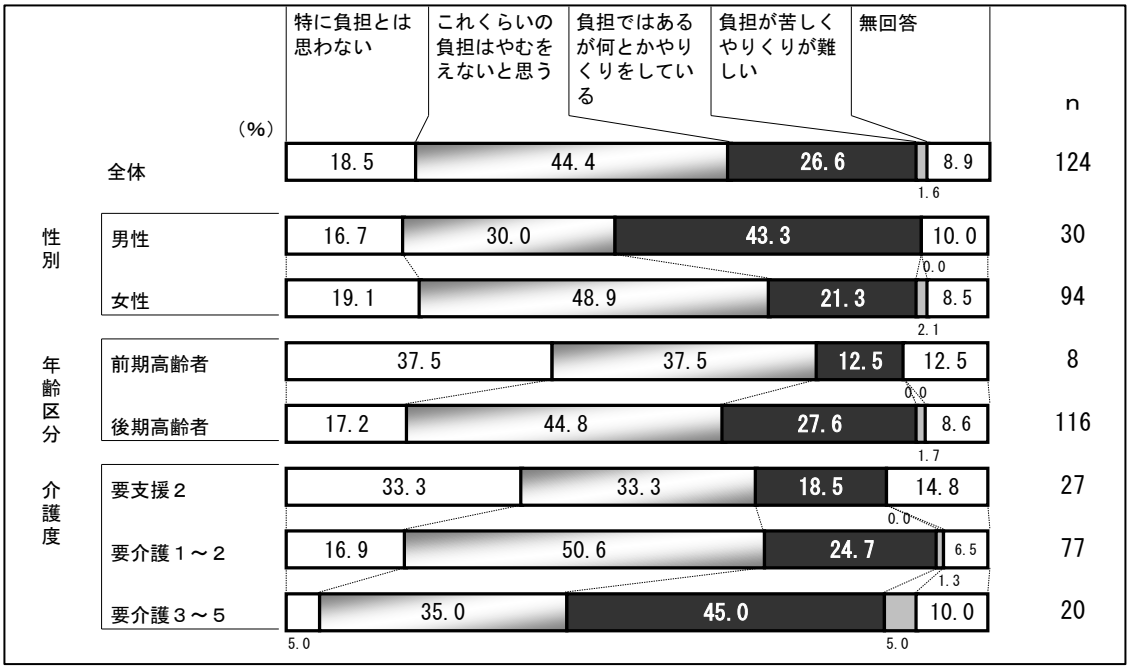
● 「これくらいの負担はやむをえないと思う」が４割強、「負担ではあるが何とかやりくりをしている」が３割弱を占める。

現在の対象者の介護度についてたずねたところ、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が 44.4%、「負担ではあるが何とかやりくりをしている」が 26.6%、「特に負担とは思わない」が 18.5%、「負担が苦しくやりくりが難しい」が 1.6%となっている。

年齢でみると、男性では「負担ではあるが何とかやりくりしている」が４割強を占めるのに対し、女性では２割強にとどまっている。

介護度でみると、重度化するにつれて「負担ではあるが何とかやりくりをしている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表　介護サービスの利用料の負担について



（９）介護サービスを受けて良かったこと

問６　調査対象者が介護サービスを受けて良かったと思うことは、どのようなことですか。（複数選択可）【複数回答】

▼

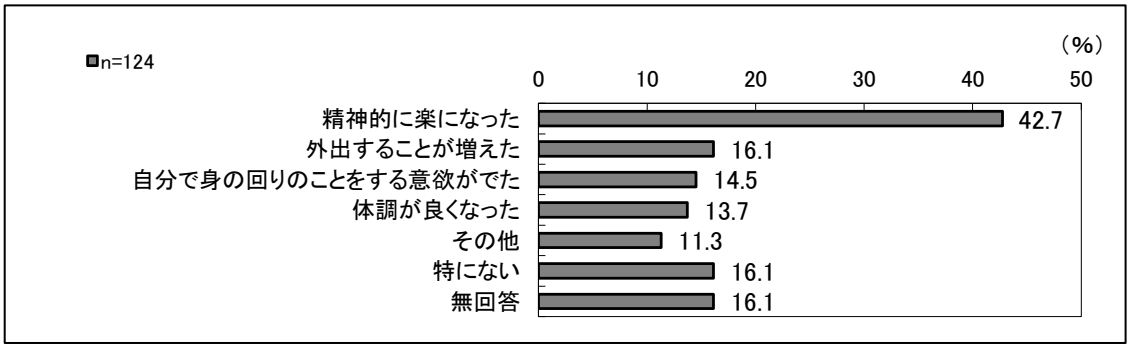
● 「精神的に楽になった」が他を大きく引き離して第１位。

介護サービスを受けて良かったことについてたずねたところ、「精神的に楽になった」（42.7%）が最も多く、次いで「外出することが増えた」（16.1%）、「自分で身の回りのことをする意欲がでた」（14.5%）、「体調が良くなった」（13.7%）となっている。

なお、「特にない」は 16.1%となっている。

性別でみると、いずれの属性でも「精神的に楽になった」が第１位となっている。

図表　介護サービスを受けて良かったこと（全体／複数回答）



図表　介護サービスを受けて良かったこと（全体・属性別－上位第３位／複数回答）

（単位：%）

		第１位	第２位	第３位
全体		精神的に楽になった 42.7	外出することが増えた 16.1	自分で身の回りのことをする意欲がでた 14.5
性別	男性	精神的に楽になった 40.0	体調が良くなった 23.3	自分で身の回りのことをする意欲がでた 20.0
	女性	精神的に楽になった 43.6	外出することが増えた 19.1	自分で身の回りのことをする意欲がでた 12.8
年齢区分	前期高齢者	精神的に楽になった 50.0	自分で身の回りのことをする意欲がでた 12.5	
	後期高齢者	精神的に楽になった 42.2	外出することが増えた 17.2	自分で身の回りのことをする意欲がでた／体調が良くなった 14.7
介護度	要支援２	精神的に楽になった 33.3	外出することが増えた 18.5	自分で身の回りのことをする意欲がでた／体調が良くなった 14.8
	要介護１～２	精神的に楽になった 46.8	自分で身の回りのことをする意欲がでた 15.6	体調が良くなった／外出することが増えた 11.7
	要介護３～５	精神的に楽になった 40.0	外出することが増えた 30.0	体調が良くなった 20.0

（10）現在受けている介護サービスの満足度

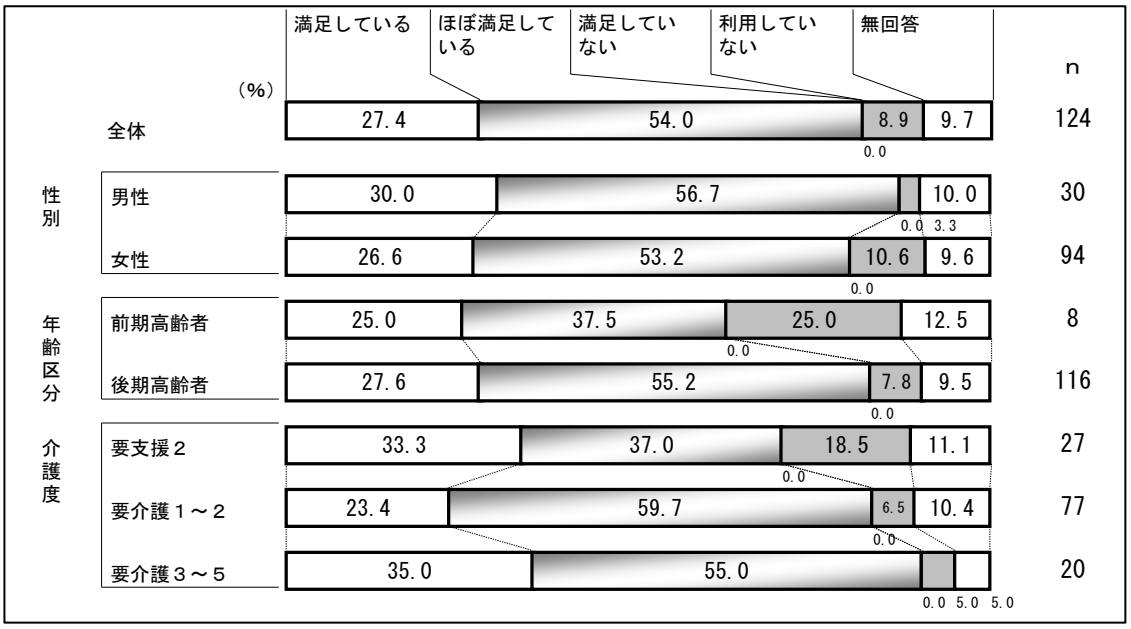
問７　現在受けている介護サービスについて、全体的にみてどのくらい満足していますか。（１つを選択）

▼

● 「ほぼ満足している」が５割強、「満足している」が３割弱を占める。

現在受けている介護サービスの満足度についてたずねたところ、「ほぼ満足している」が 54.0%、「満足している」が 27.4%、「利用していない」が 8.9%となっている。

図表　現在受けている介護サービスの満足度

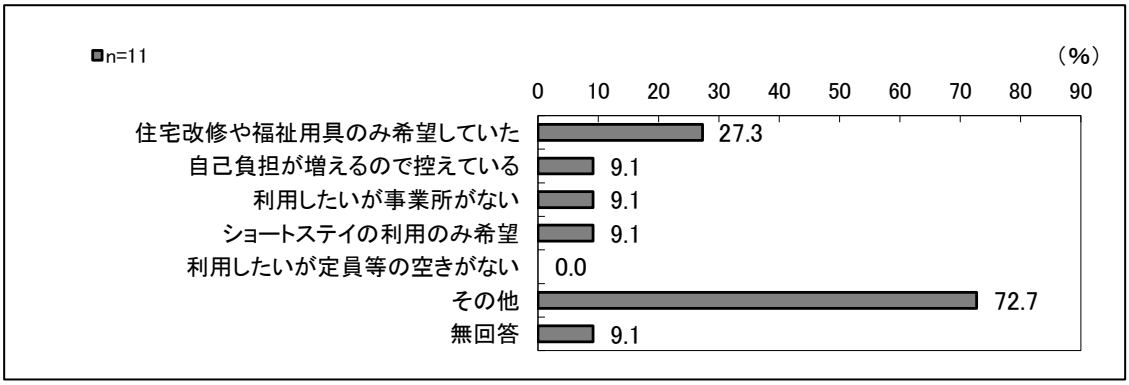


(11) 満足していない、利用していない理由

※問 7-1 は、問７で「３．満足していない」「４．利用していない」と回答した方にお聞きします。
問 7-1　「満足していない」「利用していない」理由について教えてください。(複数選択可)
【複数回答】

満足していない、利用していない理由についてたずねたところ、「住宅改修や福祉用具のみ希望していた」(27.3%) が最も多く、次いで「自己負担が増えるので控えている」・「利用したいが事業所がない」・「ショートステイの利用のみ希望」(同率 9.1%) となっている。

図表　満足していない、利用していない理由（全体／複数回答）



(12) 今後の介護サービス利用意向

問８　今後の介護サービス利用意向についてお答えください。
（それぞれあてはまる番号１つに○）

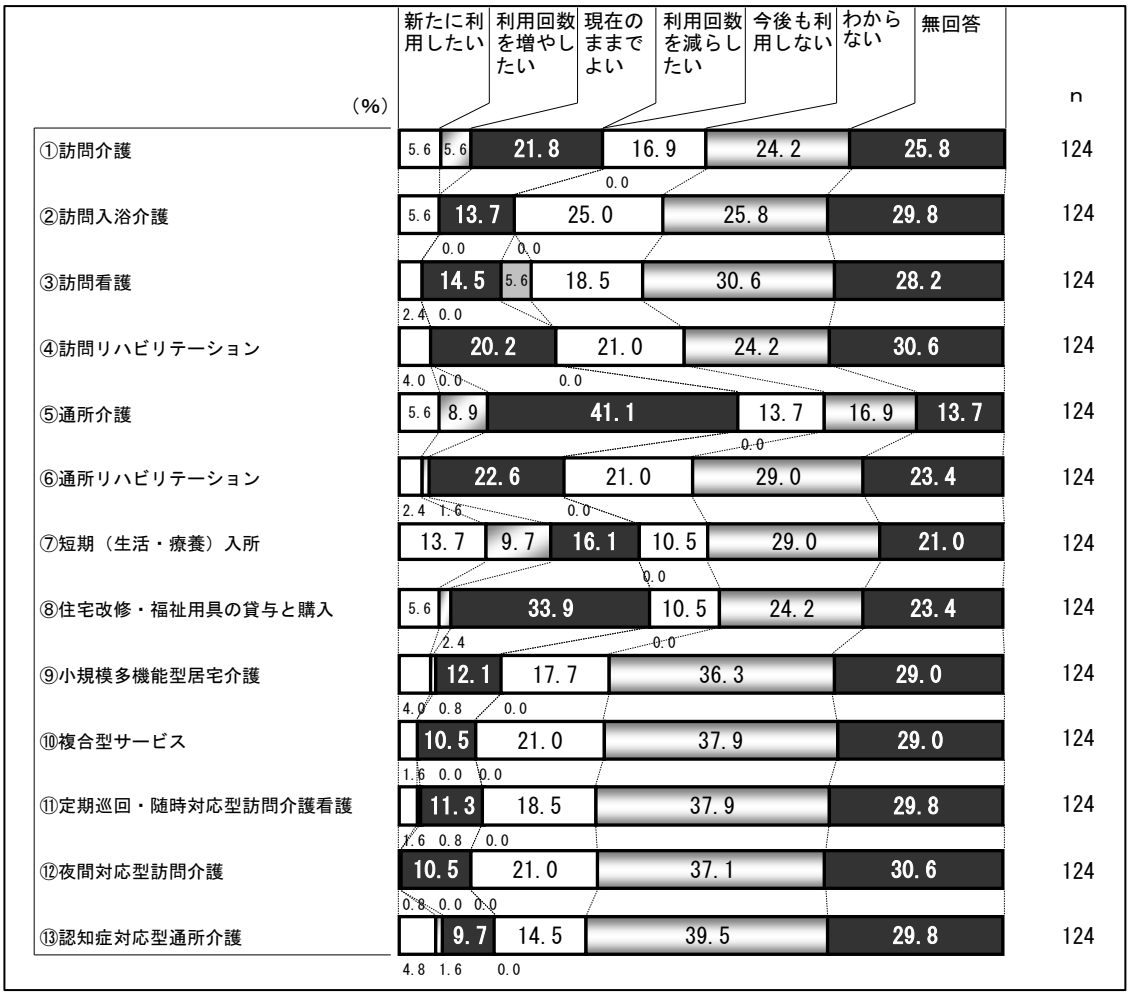
▼

● ⑦短期（生活・療養）入所は「新たに利用したい」と「利用回数を増やしたい」の割合が他のサービスよりも高くなっている。

今後の介護サービス利用意向については、以下のとおり。

⑦短期（生活・療養）入所では「新たに利用したい」が 13.7%、「利用回数を増やしたい」が 9.7%と、他のサービスよりもニーズが高くなっている。

図表　今後の介護サービス利用意向

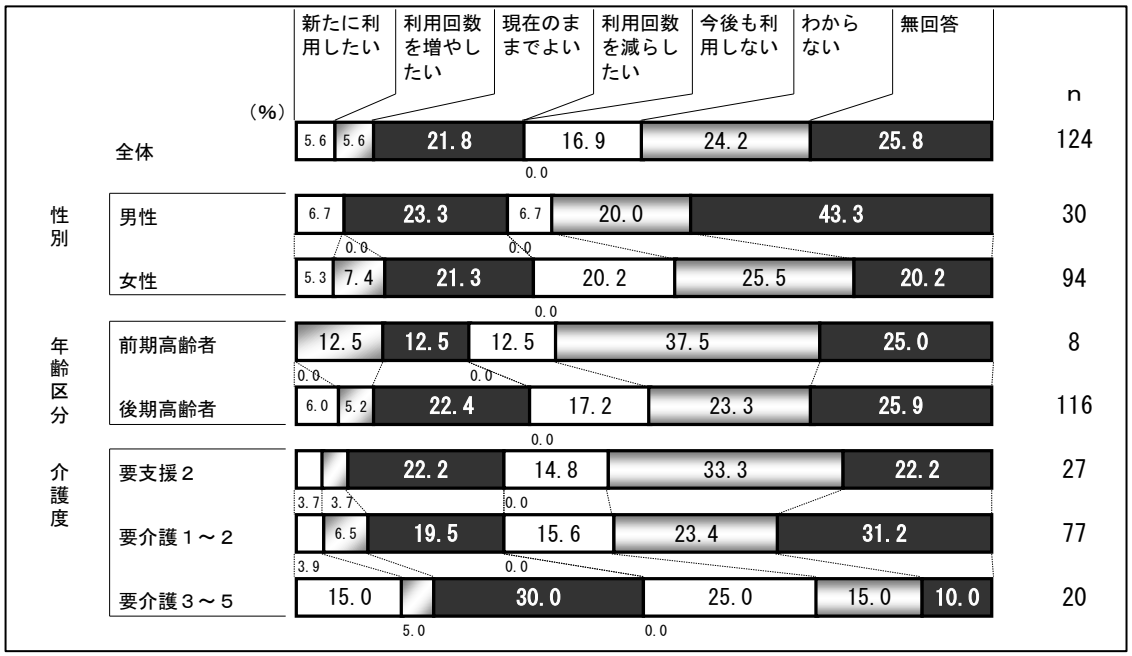


①訪問介護

訪問介護については、「現在のままでよい」が 21.8%、「今後も利用しない」が 16.9%、「新たに利用したい」・「利用回数を増やしたい」が同率で 5.6%となっている。

介護度でみると介護度が上昇するにつれて「新たに利用したい」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表　今後の介護サービス利用意向（訪問介護）

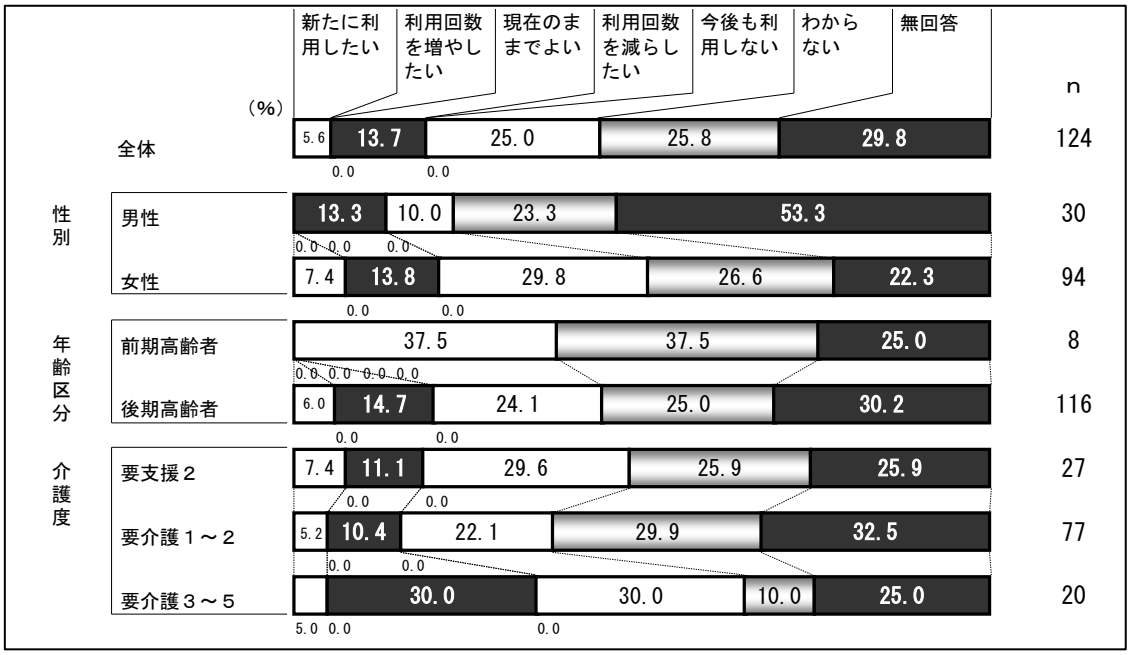


②訪問入浴介護

訪問入浴介護については、「今後も利用しない」が 25.0%、「現在のままでよい」が 13.7%、「新たに利用したい」が 5.6%となっている。

介護度でみると要介護３～５では「現在のままでよい」が 30.0%を占めている。

図表　今後の介護サービス利用意向（訪問入浴介護）

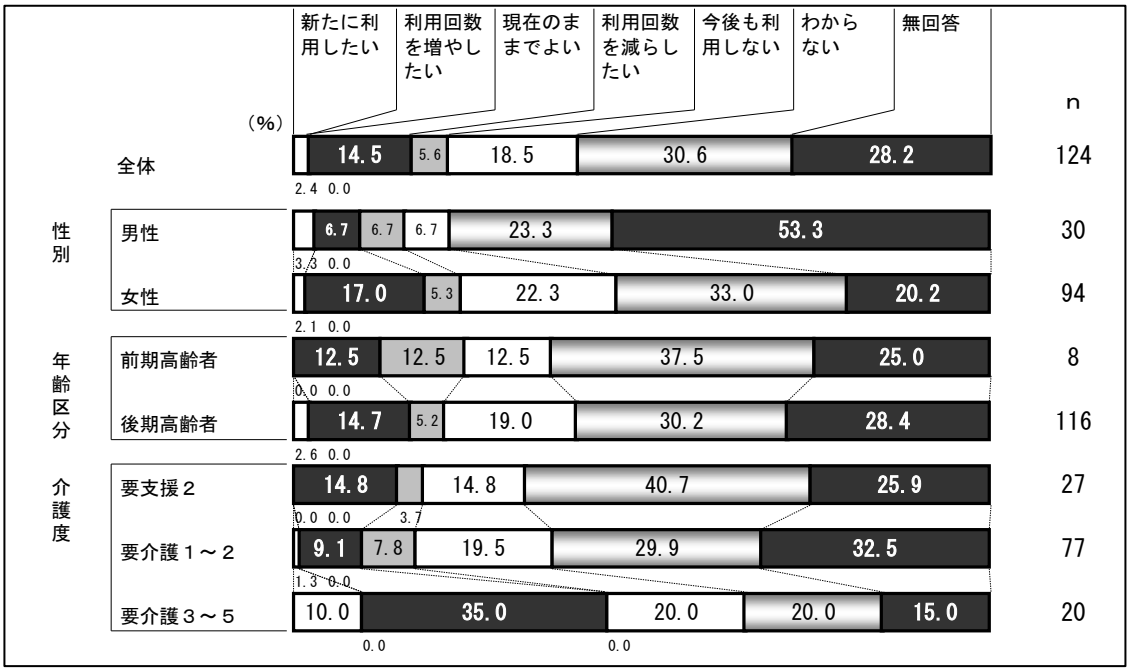


③訪問看護

訪問看護については、「今後も利用しない」が 18.5%、「現在のままでよい」が 14.5%、「利用回数を減らしたい」が 5.6%、「新たに利用したい」が 2.4%となっている。

介護度でみると要介護３～５では「現在のままでよい」が 35.0%を占めている。

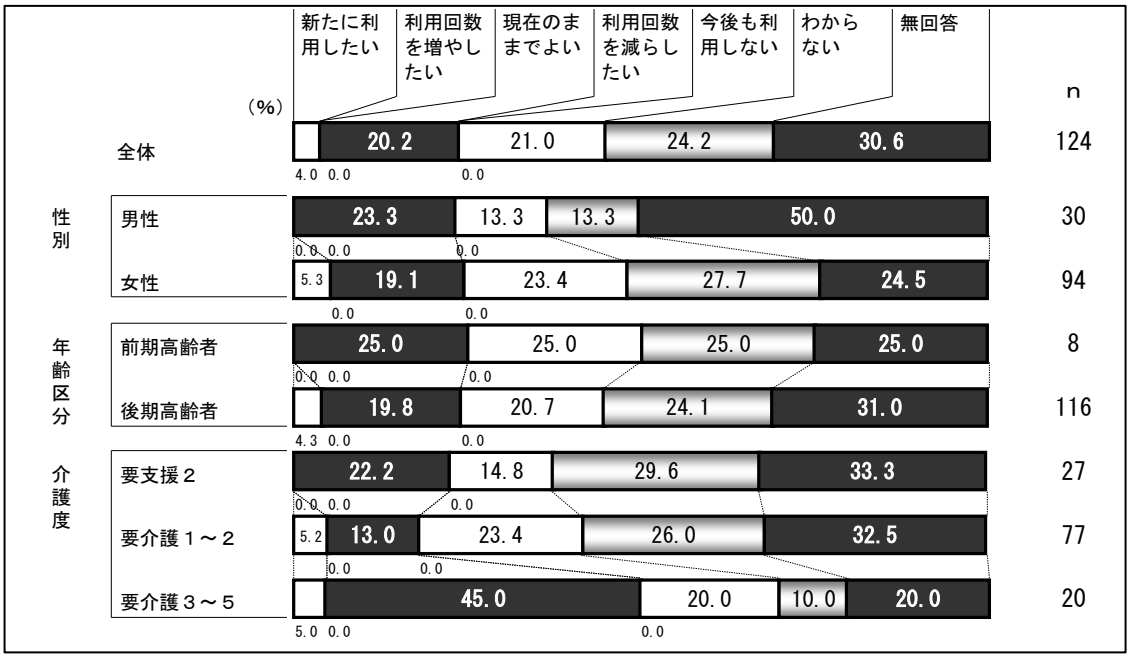
図表　今後の介護サービス利用意向（訪問看護）



④訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションについては、「今後も利用しない」が 21.0%、「現在のままでよい」が 20.2%、「新たに利用したい」が 4.0%となっている。

図表　今後の介護サービス利用意向（訪問リハビリテーション）

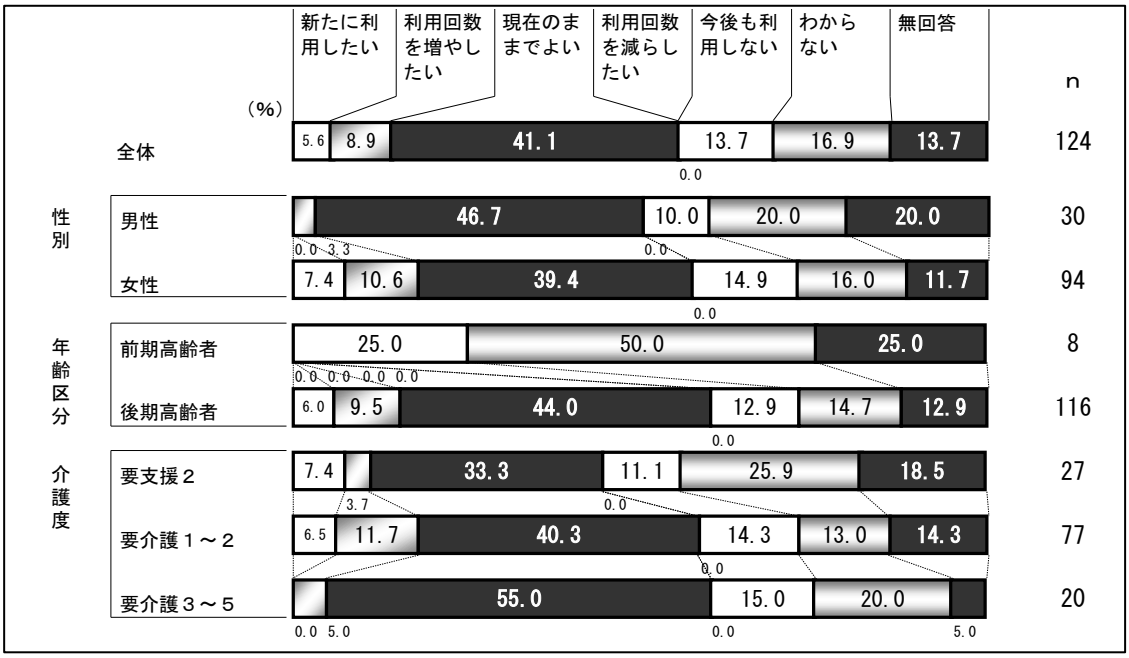


⑤通所介護

通所介護については、「現在のままでよい」が 41.1%、「今後も利用しない」が 13.7%、「利用回数を増やしたい」が 8.9%、「新たに利用したい」が 5.6%となっている。

介護度でみると、要介護１～２では「新たに利用したい」が 6.5%を占めるほか、「利用回数を増やしたい」が 11.7%を占めている。

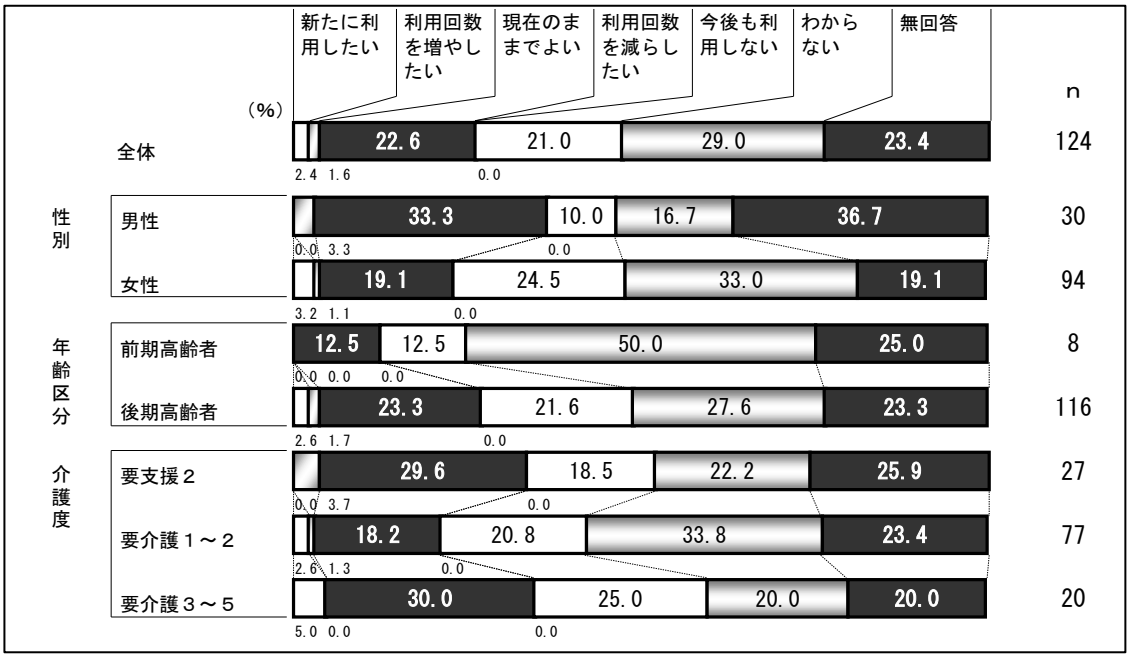
図表　今後の介護サービス利用意向（通所介護）



⑥通所リハビリテーション

通所リハビリテーションについては、「現在のままでよい」が 22.6%、「今後も利用しない」が 21.0%、「新たに利用したい」が 2.4%、「利用回数を増やしたい」が 1.6%となっている。

図表　今後の介護サービス利用意向（通所リハビリテーション）



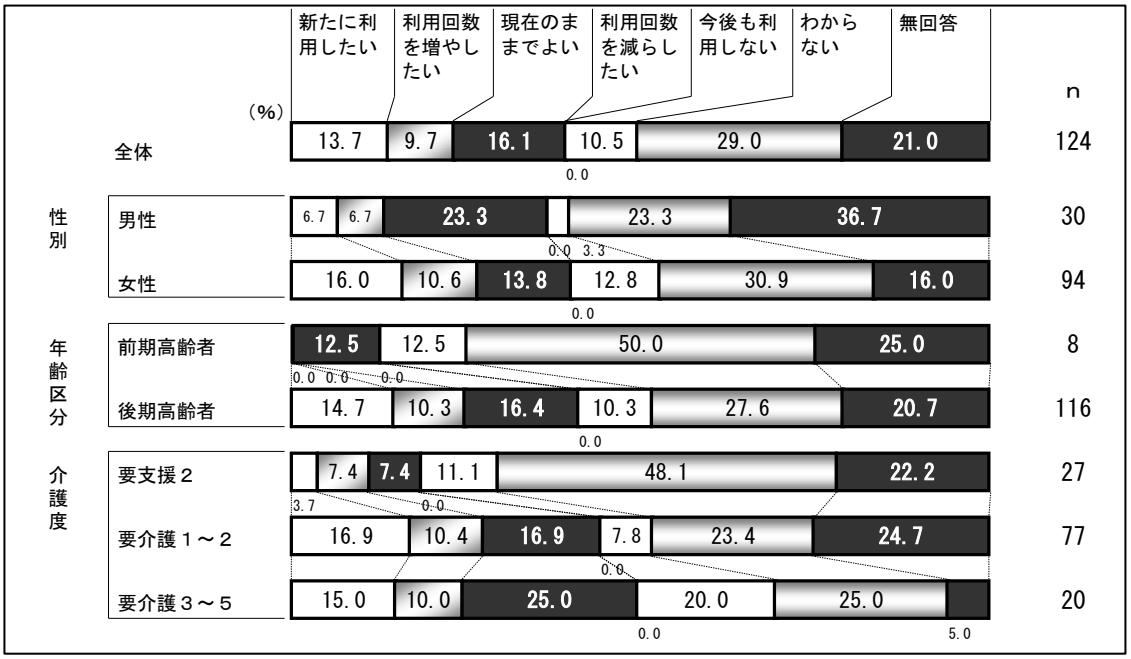
⑦短期入所

短期入所については、「現在のままでよい」が 16.1%、「新たに利用したい」が 13.7%、「今後も利用しない」が 10.5%、「利用回数を増やしたい」が 9.7%となっている。

年齢区分でみると、後期高齢者では「新たに利用したい」が 14.7%を占めるほか、「利用回数を増やしたい」が 10.3%となっており、これら２つの選択肢を回答しているのは後期高齢者のみとなっている。

介護度でみると、要介護１以上では「新たに利用したい」はともに１割台半ば、「利用回数を増やしたい」はともに１割程度となっている。

図表　今後の介護サービス利用意向（短期入所）

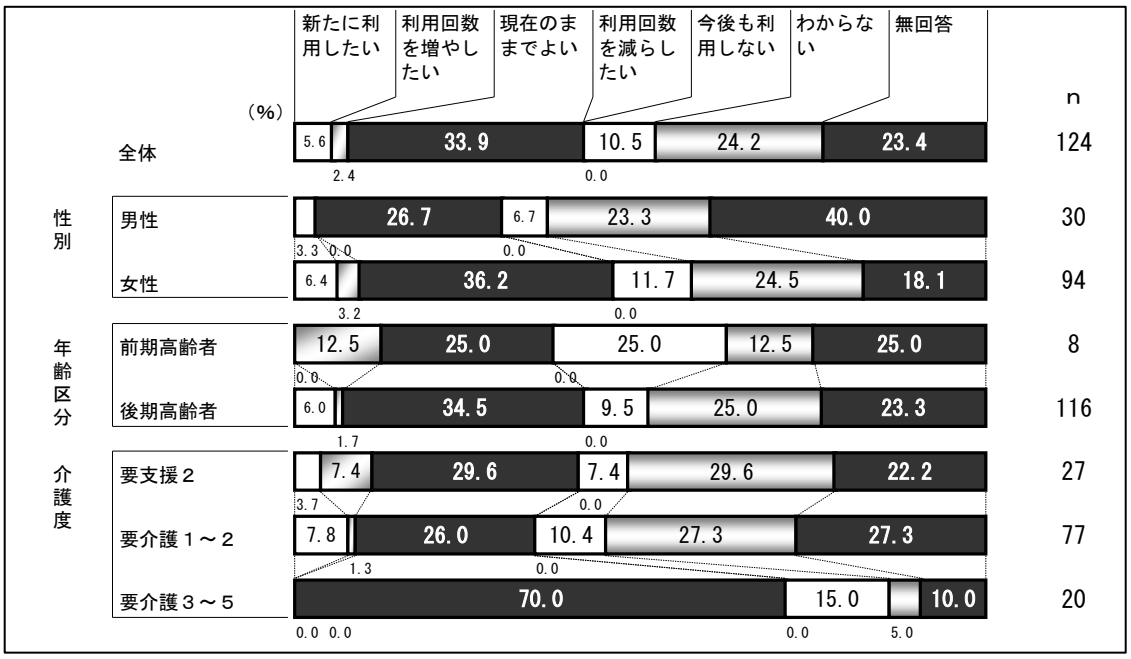


⑧住宅改修・福祉用具の貸与と購入

住宅改修・福祉用具の貸与と購入については、「現在のままでよい」が 33.9%、「今後も利用しない」が 10.5%、「新たに利用したい」が 5.6%、「利用回数を増やしたい」が 2.4%となっている。

介護度でみると、要支援２、要介護１～２では「新たに利用したい」と「利用回数を増やしたい」の回答があるものの、「要介護３～５」では回答なしとなっている。

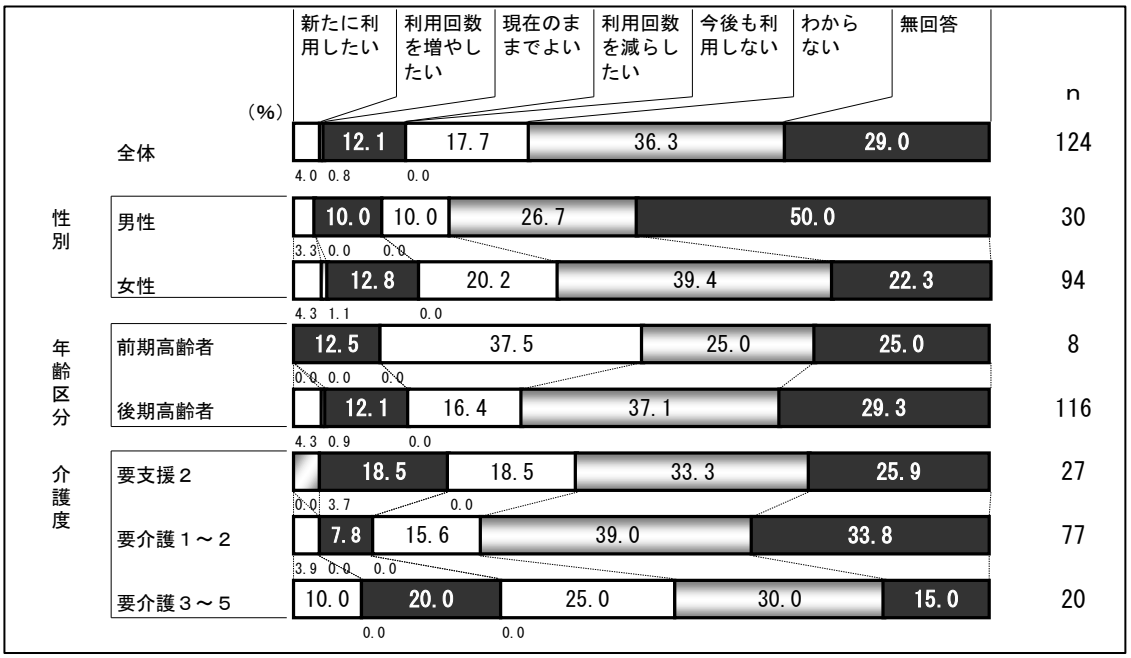
図表　今後の介護サービス利用意向（住宅改修・福祉用具の貸与と購入）



⑨小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護については、「今後も利用しない」が 17.7%、「現在のままでよい」が 12.1%、「新たに利用したい」が 4.0%、「利用回数を増やしたい」が 0.8%となっている。

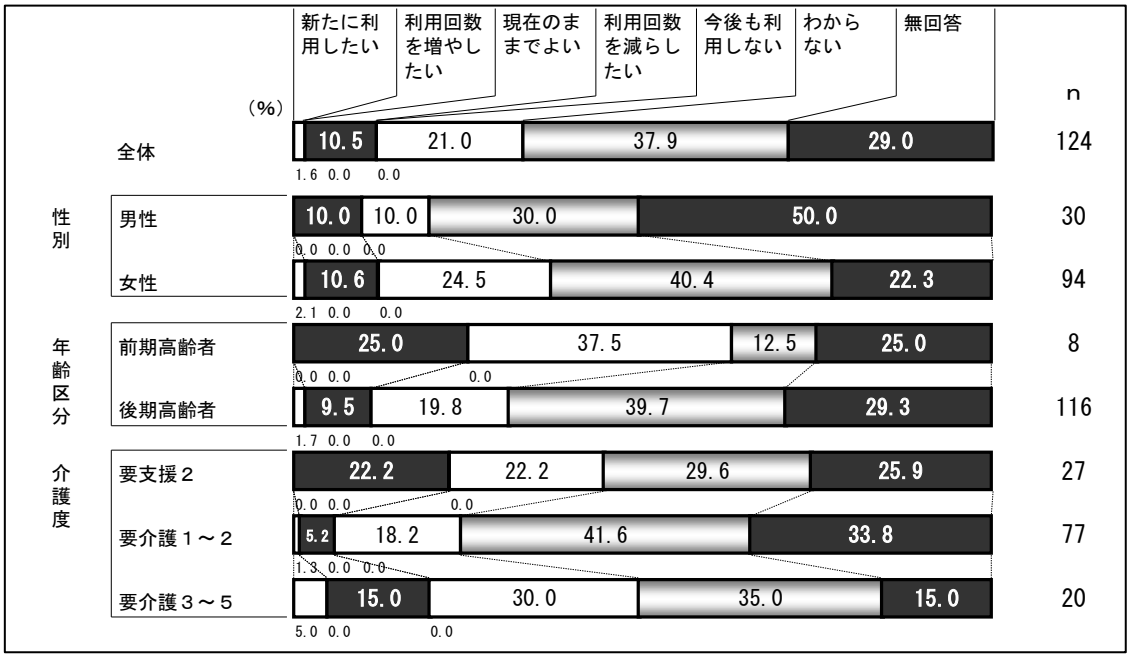
図表　今後の介護サービス利用意向（小規模多機能型居宅介護）



⑩複合型サービス

複合型サービスについては、「今後も利用しない」が 21.0%、「現在のままでよい」が 10.5%、「新たに利用したい」が 1.6%となっている。

図表　今後の介護サービス利用意向（複合型サービス）

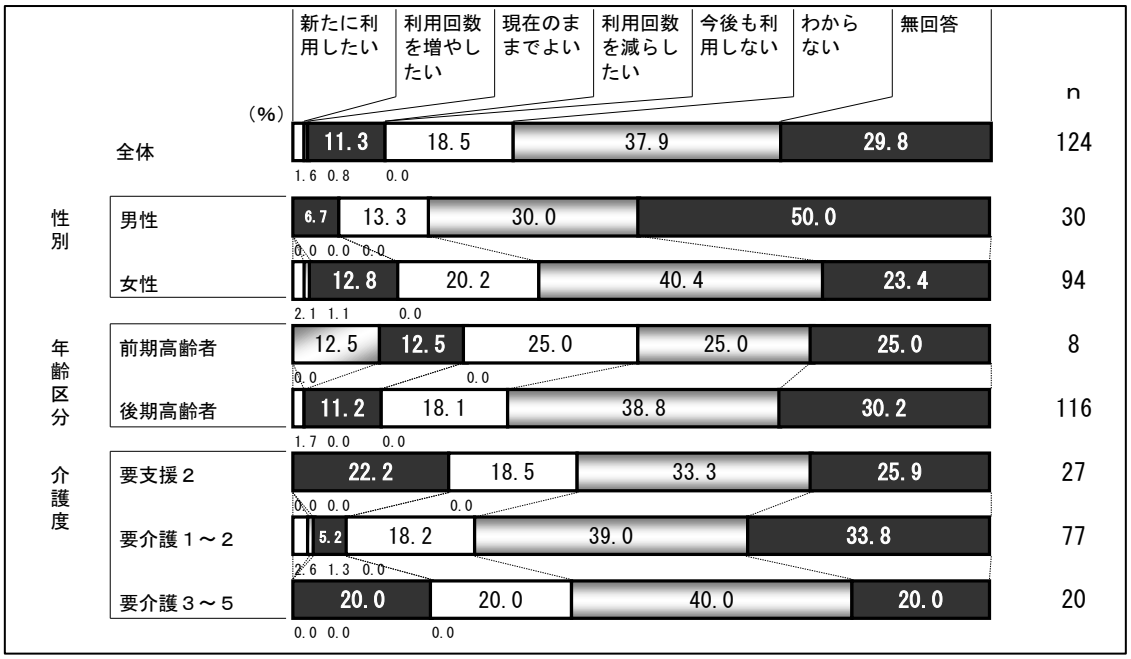


⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、「今後も利用しない」が 18.5%、「現在のままでよい」が 11.3%、「新たに利用したい」が 1.6%となっている。

年齢区分でみると、前期高齢者では「利用回数を増やしたい」が 12.5%となっている。

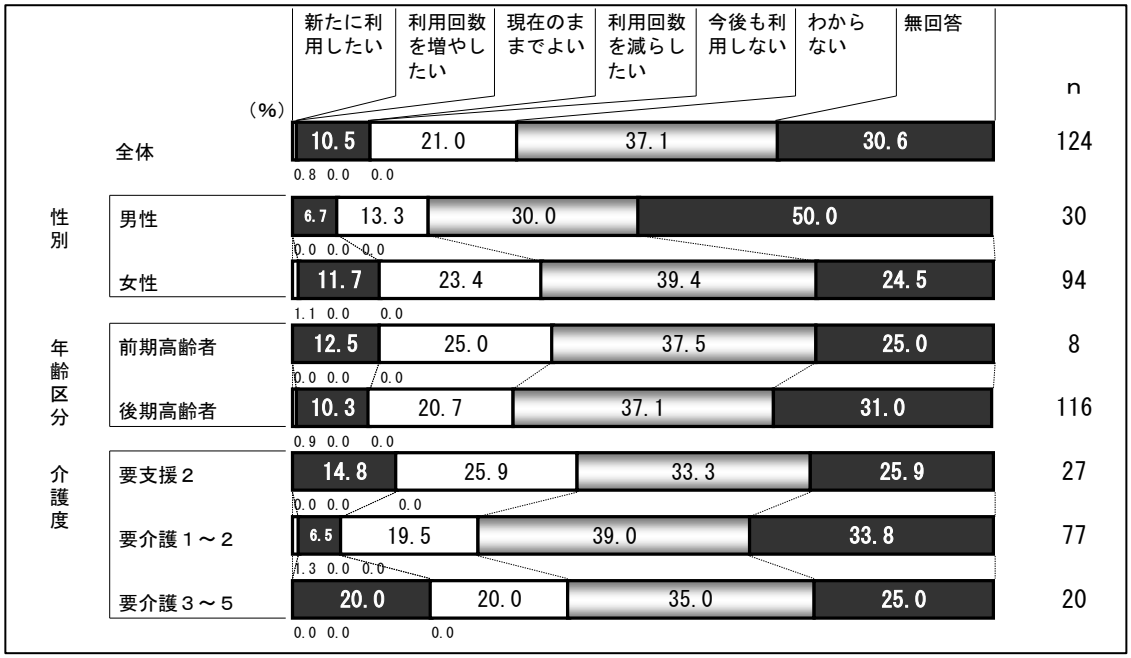
図表　今後の介護サービス利用意向（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）



⑫夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護については、「今後も利用しない」が 21.0%、「現在のままでよい」が 10.5%、「新たに利用したい」が 0.8%となっている。

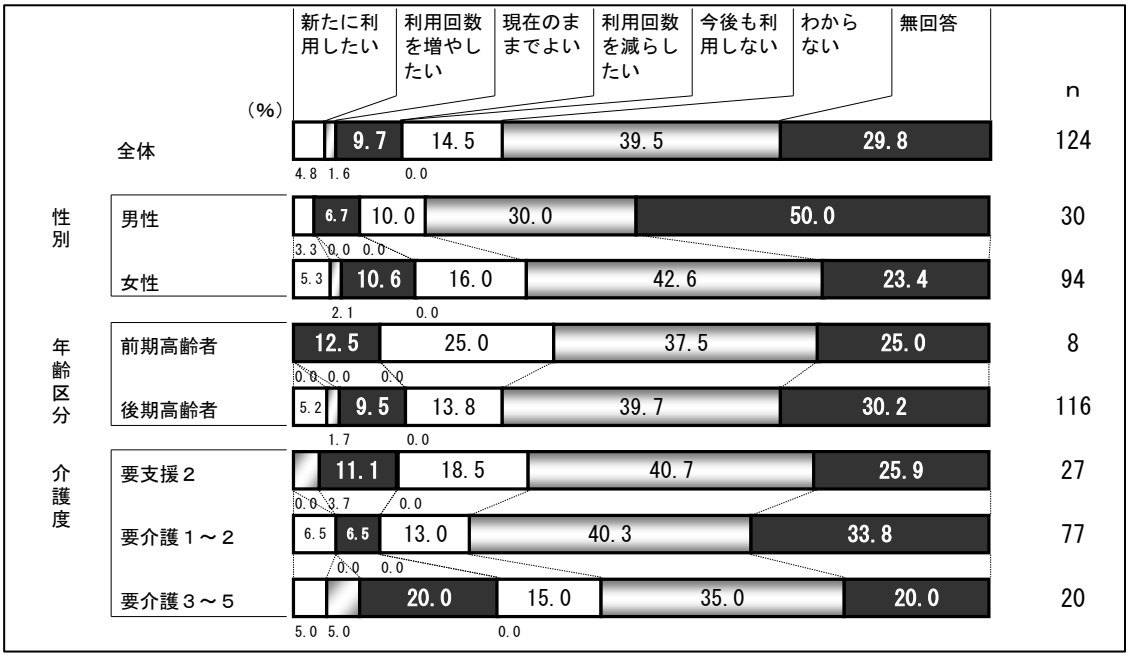
図表　今後の介護サービス利用意向（夜間対応型訪問介護）



⑬認知症対応型通所介護

認知症対応型通所介護については、「今後も利用しない」が 14.5%、「現在のままでよい」が 9.7%、「新たに利用したい」が 4.8%、「利用回数を増やしたい」が 1.6%となっている。

図表　今後の介護サービス利用意向（認知症対応型通所介護）



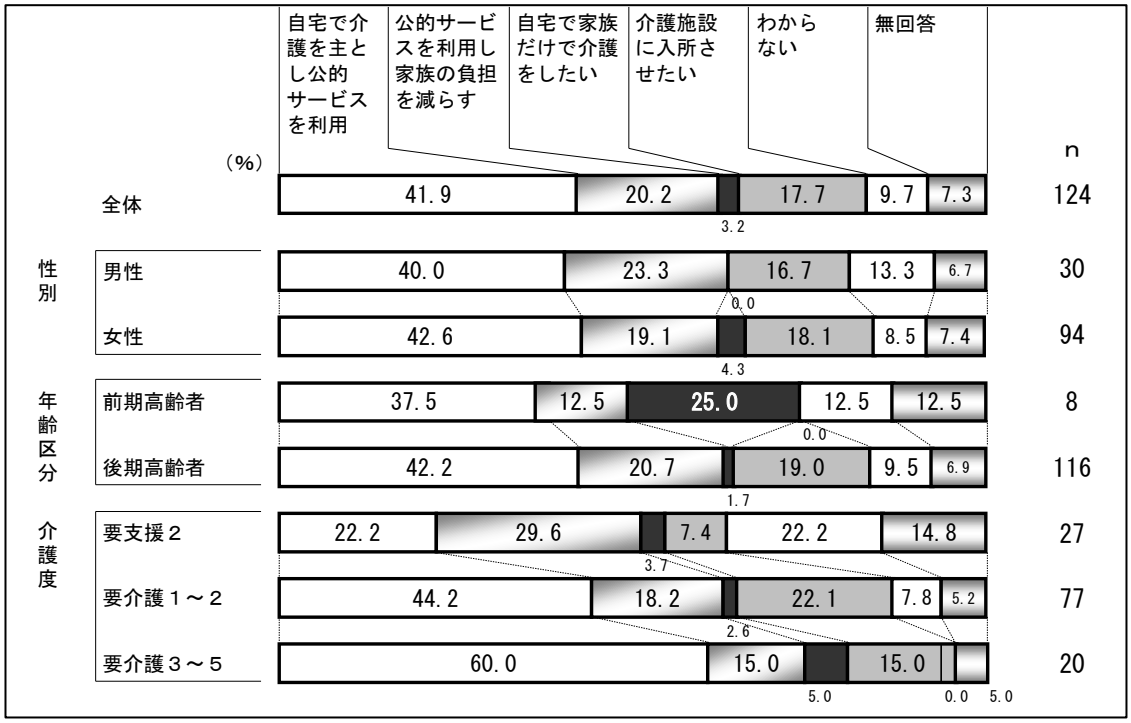
(13) 今後の介護方法

問９　今後はどのような介護方法を考えていますか。（１つを選択）

▼

● 「自宅で介護を主とし公的サービスを利用」が４割強を占める。

今後の介護方法についてたずねたところ、「自宅で介護を主とし公的サービスを利用」が 41.9%、「公的サービスを利用し家族の負担を減らす」が 20.2%、「介護施設に入所させたい」が 17.7%、「自宅で家族だけで介護をしたい」が 3.2%となっている。なお、「わからない」は 9.7%となっている。

介護度でみると、要介護状態が上昇するにつれ「自宅で介護を主とし公的サービスを利用」の割合が高くなり、「公的サービスを利用し家族の負担を減らす」の割合が低くなる傾向がうかがえる。要介護１～２では「介護施設に入所させたい」が 22.1%を占めている。

図表　今後の介護方法